

**平成23年度**

# **保健活動のまとめ**

**大口町保健センター**

## 大口町健康の町宣言

健康は、まちの財産であり、しあわせの源であります。

心身ともに健康であることは、町民すべての願いであり、活力あるまちづくりのうえで、最も大切なことでもあります。

私たち大口町民は、一人ひとりが健康でしあわせな、明るい活力ある大口町を築くため、ここに「健康の町」を宣言します。

- 1 スポーツやレクリエーションをとおして、健康なところとからだをつくります。
- 2 町民一人ひとりが調和のある、健康で豊かな家庭をつくります。
- 3 健康づくりを地域にひろめ、健康で豊かなまちをつくります。

# 目 次

## 1 大口町の概要

1	町の位置及び紹介	1
2	大口町医療機関等分布図	2
3	人口	2
4	人口動態統計年次推移	5
5	選択死因別死亡数・(人口10万対)年次推移	5
6	大口町組織図	8
7	保健センターの概要	9
8	保健活動の変遷	11

## 2 母子保健活動

1	母子保健事業の取り組み	16
2	母子健康手帳の交付・妊婦相談	16
3	妊婦・乳児健康診査	17
4	一般不妊治療費助成事業	18
5	フレッシュママの会	18
6	低体重児の状況	18
7	乳幼児健康診査	19
8	家庭訪問	22
9	子育て相談室	23
10	離乳食教室	24
11	たんぼぼ教室	25
12	子育て支援・他機関との連携	26

## 3 成人保健活動

1	成人保健の取り組み	30
2	健康手帳の交付	30
3	特定健診・特定保健指導	31
4	各種がん検診	35
5	住民(結核)検診	40
6	わかば健康診査	41
7	肝炎ウイルス検診	42
8	骨密度測定	43
9	健康教育	44
10	健康相談	47
11	介護予防事業	48

## 4 歯科保健活動

1	歯科保健事業の取り組み	49
2	幼児期歯科健康診査	50
3	フッ化物洗口説明会	51
4	歯の健康センター	51
5	妊婦歯科健康診査	52
6	歯周病予防健診	53
7	8020・9018運動 歯の健康コンクール	54
8	口腔機能向上事業	55

## 5 健康推進事業

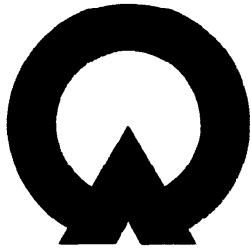
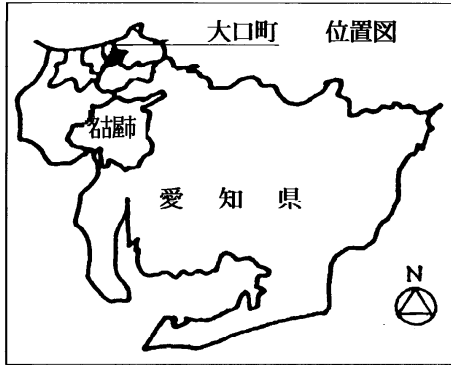
1	健康推進員活動	56
2	「健康おおぐち21」計画推進	62

## 6 感染症予防事業

1	予防接種	68
---	------	----

# 1 大口町の概要

# 1 町の位置及び紹介



町章



大口町は、愛知県の西北部にあり、犬山扇状地の東南部に位置しています。東西約3.6キロメートル、南北約6.1キロメートル、総面積13.58平方キロメートルです。北は扶桑町、北東は犬山市、北西から西は江南市、南から南東は小牧市に接しています。

名古屋市より直線距離にしてわずか18キロメートルの近郊地域に位置していますが、五条川をはじめとした恵まれた自然や田園地帯が広がることから、良好な環境を有する住宅地としての魅力が高まっています。

町中央部を国道41号線が南北に走るとともに、周辺には東名高速道路、名神高速道路、中央自動車道、名古屋都市高速道路がネットワークを形成しています。

## 2 大口町医療機関等分布図



## 3 人口

(1) 地区別世帯数 (単位: 世帯)

地区	区分	世帯
秋田		720
豊田		607
大屋敷		523
外坪		256
河北		504
余野		1,756
上小口		577
中小口		742
下小口		1,512
垣田		378
さつきヶ丘		317
合計		7,892

(2) 地区別人口 (単位: 人)

地区	区分	人口		
		男	女	総数
秋田		1,089	1,109	2,198
豊田		960	956	1,916
大屋敷		734	747	1,481
外坪		400	400	800
河北		788	804	1,592
余野		2,538	2,424	4,962
上小口		851	743	1,954
中小口		1,082	1,076	2,158
下小口		2,005	1,747	3,752
垣田		391	517	908
さつきヶ丘		415	402	817
合計		11,253	10,925	22,178

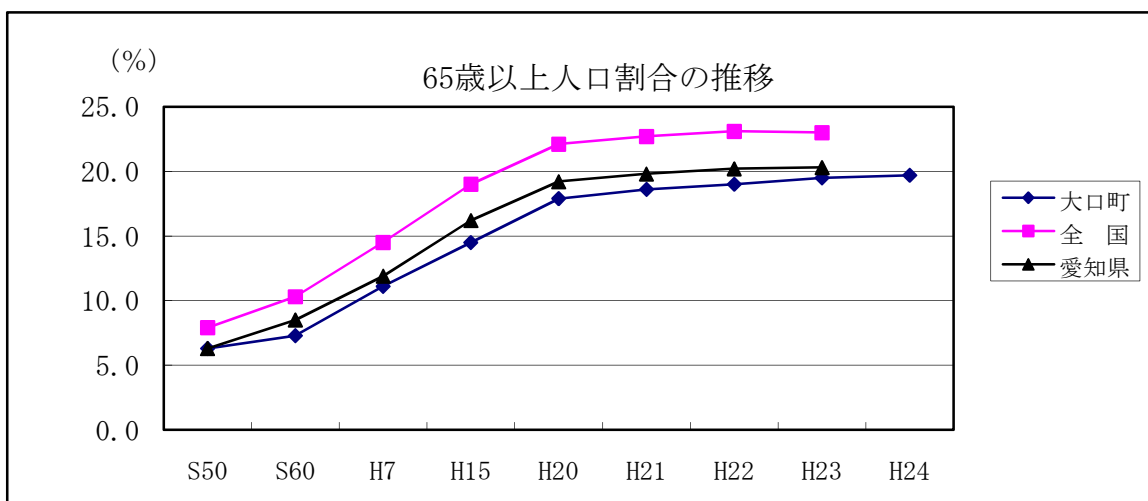
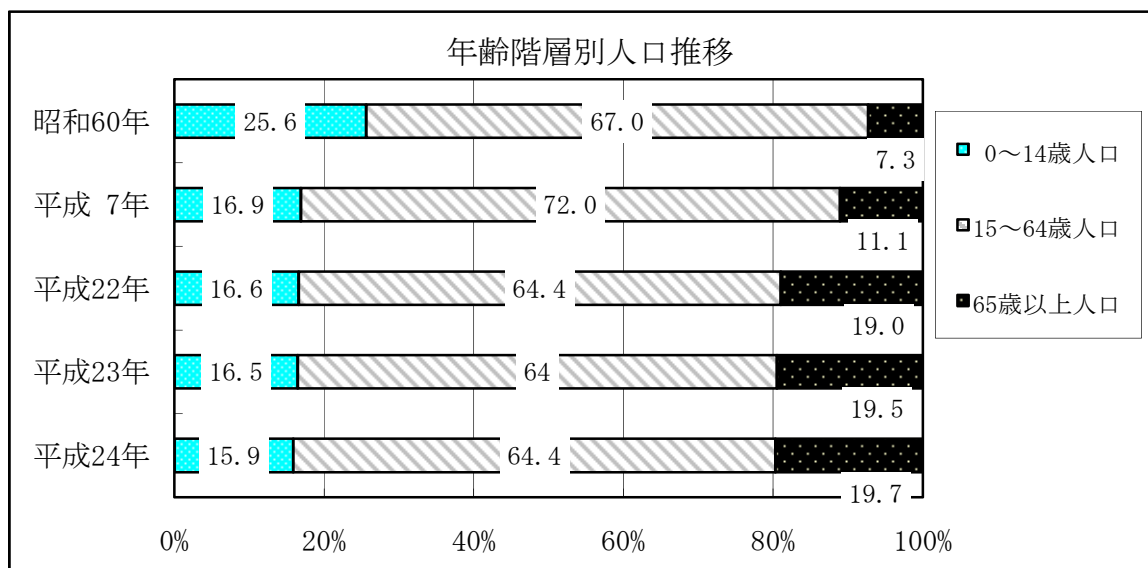
(平成23年10月1日現在 住民基本台帳より)

(3) 年齢階層別人口の推移

(単位 上段：人 下段：%)

		昭和50年	昭和60年	平成7年	平成22年	平成23年	平成24年
総人口		15,894	16,195	19,031	22,199	22,178	22,817
年齢階層区分	0～14歳人口	4,052	4,153	3,223	3,681	3,660	3,622
	比率	25.5	25.6	16.9	16.6	16.5	15.9
	15～64歳人口	10,840	10,852	13,702	14,290	14,203	14,689
	比率	68.2	67.0	72.0	64.4	64.0	64.4
	65歳以上人口	1,002	1,190	2,106	4,228	4,315	4,506
	比率	6.3	7.3	11.1	19.0	19.5	19.7
	40歳以上人口	4,466	5,216	8,648	11,183	11,407	11,848
	比率	28.1	32.2	45.4	50.4	51.4	51.9
75歳以上	308	421	873	1,691	1,750	1,862	
比率	1.9	2.6	4.6	7.6	7.9	8.2	
全国	65歳以上人口比率	7.9	10.3	14.5	23.1	23.0	
愛知県	65歳以上人口比率	6.3	8.5	11.9	20.2	20.3	

資料：全国・愛知県は、総務省統計局発表のもの。各年、10月1日の人口に基づく。





(4) 地区別高齢化率

(上段：人 下段：%)

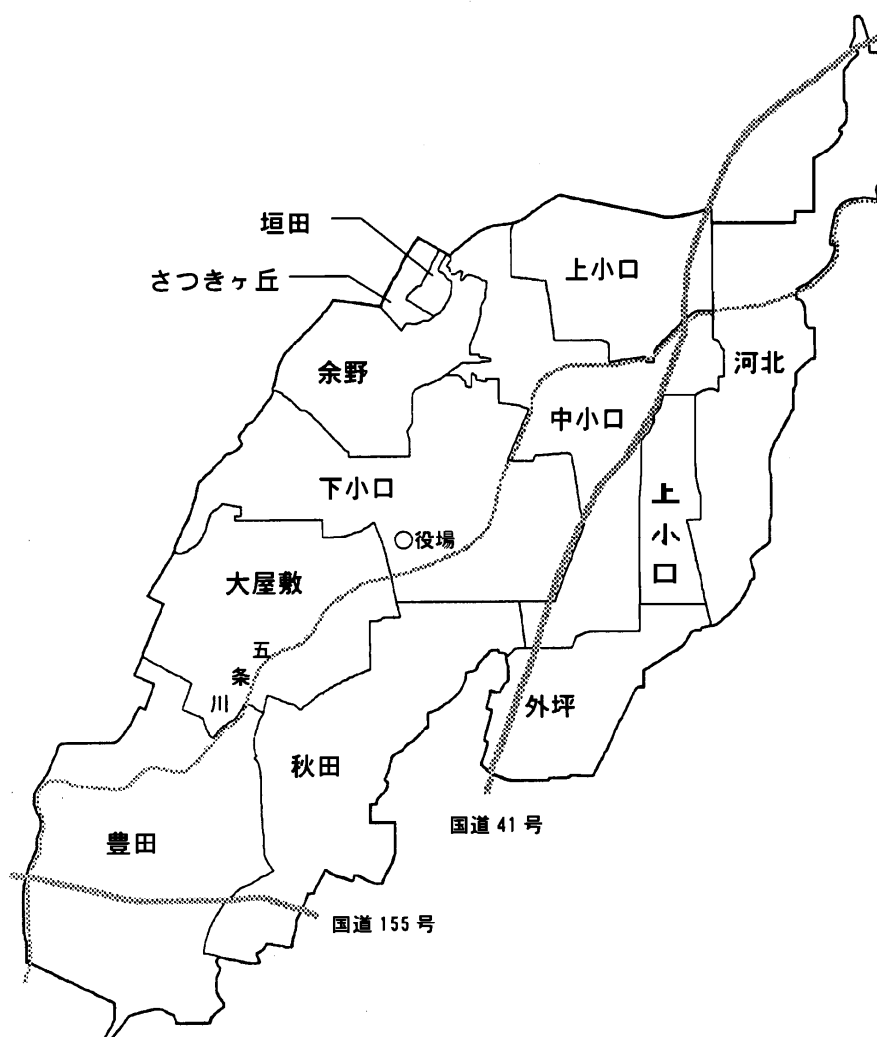
地 区	秋田	豊田	大屋敷	外坪	河北	余野
人 口	2,198	1,916	1,481	800	1,592	4,962
65歳以上人口	417	439	408	218	281	643
比 率	19.0	22.9	27.5	27.3	17.7	13.0

地 区	上小口	中小口	下小口	垣田	さつきヶ丘	合計
人 口	1,594	2,158	3,752	908	817	22,178
65歳以上人口	337	391	742	193	246	4,315
比 率	21.1	18.1	19.8	21.3	30.1	19.5

(平成23年10月1日現在 住民基本台帳より)

〈行政区域図〉



#### 4 人口動態統計年次推移

(単位：人 率：1,000対)

種別 年	人口		出生		死亡		自然増加		乳児死亡(再掲)		新生児死亡		周産期死亡		死産		婚姻		離婚					
	総数	男	女	率	総数	男	女	率	実数	率	男	女	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率			
2	17,464	82	74	8.9	85	52	33	4.8	82	4.7	-	-	3	3.0	7	42.9	124	7.1	17	0.97				
7	19,027	213	107	11.2	119	70	49	6.3	94	4.9	1	-	2	9.4	5	22.9	132	6.9	33	1.73				
17	21,602	229	123	10.7	157	83	74	7.4	72	3.3	1	-	-	-	9	37.8	139	6.5	44	2.1				
21	22,139	238	138	10.8	164	84	80	7.4	74	3.3	-	-	2	8.3	6	24.6	122	5.2	37	1.7				
22	22,199	234	123	10.5	170	99	71	7.7	73	3.3	-	-	-	-	4	17.1	125	5.6	41	1.8				
23	22,178	221	100	10	175	91	84	7.8	46	2.1	-	-	-	-	3	13.6	127	5.7	33	1.5				
愛知県 H22	7,247,125	69,872	36,069	9.6	58,477	31,914	26,563	8.1	11,395	1.6	153	92	61	2.2	79	1.1	281	4.0	1,402	19.7	45,039	6.2	14,253	1.97
全国 H22	126,381,728	1,071,304	550,742	8.5	1,197,012	633,700	563,312	9.5	-125,708	-1.0	2,450	1,355	1,095	2.3	1,167	1.1	4,518	4.2	26,560	24.2	700,214	5.5	251,378	1.99

※人口は、大口町が愛知県民生活部統計課発表の総人口、愛知県及び全国が総務省統計課推計の日本人口で各年10月1日現在である。

<率算出式>

$$\text{出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率} = \frac{\text{出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚数}}{\text{人口}} \times 1,000$$

$$\text{死産率} = \frac{\text{死産数}}{\text{出生(出生+死産)数}} \times 1,000$$

$$\text{乳児死亡・新生児死亡出生数} = \frac{\text{乳児死亡・新生児死亡}}{\text{出生数}} \times 1,000$$

$$\text{周産期死亡率} = \frac{\text{妊娠満22週以後の死産数+早期新生児死亡数}}{\text{出生数+妊娠満22週以後の死産数}} \times 1,000$$

$$\text{死因別死亡率} = \frac{\text{死因別死亡数}}{\text{人口}} \times 1,000$$

#### 5 選択死因別死亡数・率(人口10万対)年次推移

(単位：人)

死因 年	総数		結核		悪性新生物		糖尿病		高血圧		心疾患		脳血管疾患		大動脈瘤及び解離		肺炎		慢性閉塞性肺疾患		喘息		肝疾患		腎不全		老衰		不慮の事故		自殺		その他	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率		
平成	2	85	-	-	25	143.2	-	-	2	11.5	14	80.2	10	57.3	-	-	7	40.1	-	-	-	-	1	5.7	3	17.8	4	22.9	6	43.4	4	22.9	9	51.5
7	119	1	5.3	10.5	37	194.5	2	10.5	2	10.5	14	73.6	16	84.1	-	-	12	63.1	1	5.3	-	-	1	5.3	2	10.5	4	21.0	7	36.8	3	15.8	17	89.3
17	157	-	-	9.4	46	216.4	2	9.4	-	-	30	141.1	19	89.4	-	-	19	89.4	3	14.1	-	-	1	4.7	4	18.8	4	18.8	6	28.2	2	9.4	21	98.8
21	164	-	-	9.0	53	239.4	2	9.0	0	0	27	122.0	16	72.3	2	9	24	108.4	1	4.5	0	0.0	3	13.6	4	18.1	4	18.1	5	22.6	4	18.1	19	85.8
22	170	-	-	4.7	54	243.3	1	4.7	0	0	27	127.4	11	51.9	1	4.7	22	103.8	3	13.5	0	0.0	1	4.5	5	22.5	10	45.0	7	31.5	4	18	24	108.1
23	175	-	-	4.5	49	220.9	1	4.5	0	0	19	85.6	19	85.6	5	23	25	112.7	0	0.0	0	0.0	3	13.5	4	18.0	14	6.3	6	27.1	3	13.5	27	121.7
愛知県 H22	58,477	153	2.6	10.7	17,814	304.6	623	10.7	235	4.0	8,642	147.8	5,677	97.1	789	14	5,190	88.8	689	11.8	57	1.0	736	12.6	1,070	18.3	2,383	40.8	2,094	35.8	1,434	24.5	10,891	186.2
全国 H22	1,197,066	2,126	1.7	11.4	353,318	279.6	14,399	11.4	6,758	5.3	189,192	149.7	123,393	97.6	15,182	12	118,806	94.0	16,275	12.9	2,062	1.6	16,180	12.8	23,691	18.7	45,323	35.9	40,583	32.1	29,524	23.4	200,254	1672.8

## (1) 年齢別死亡数・死亡原因（平成23年）

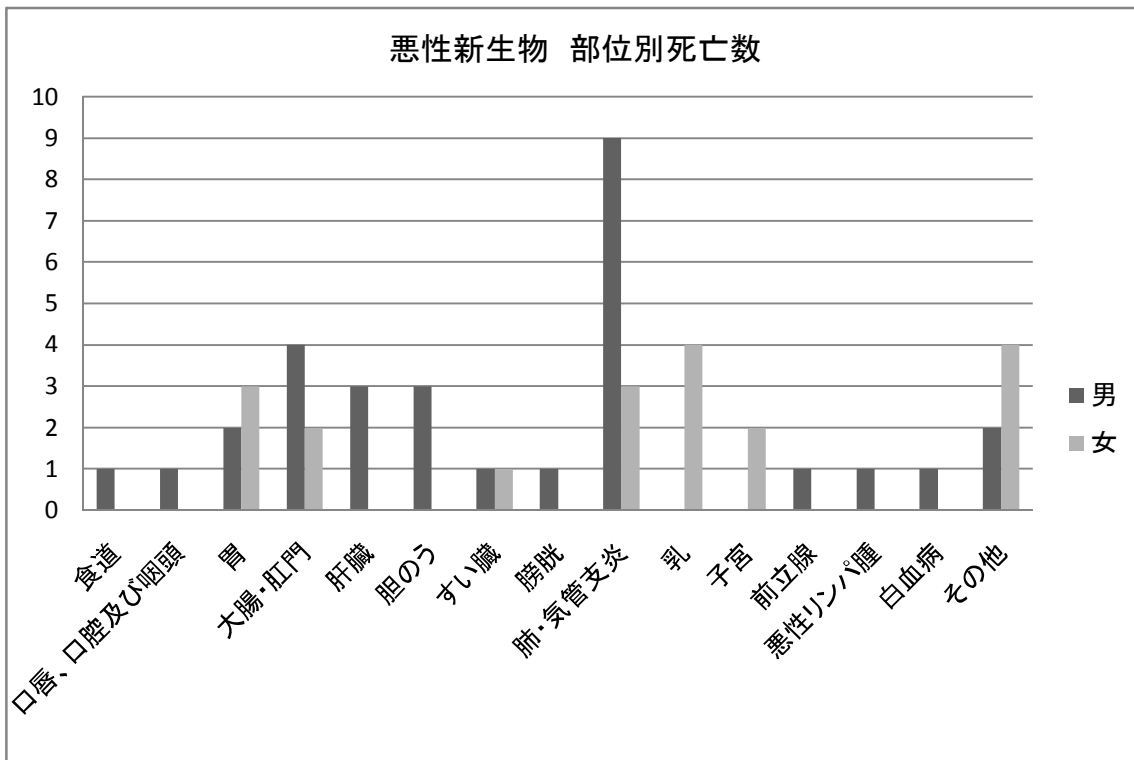
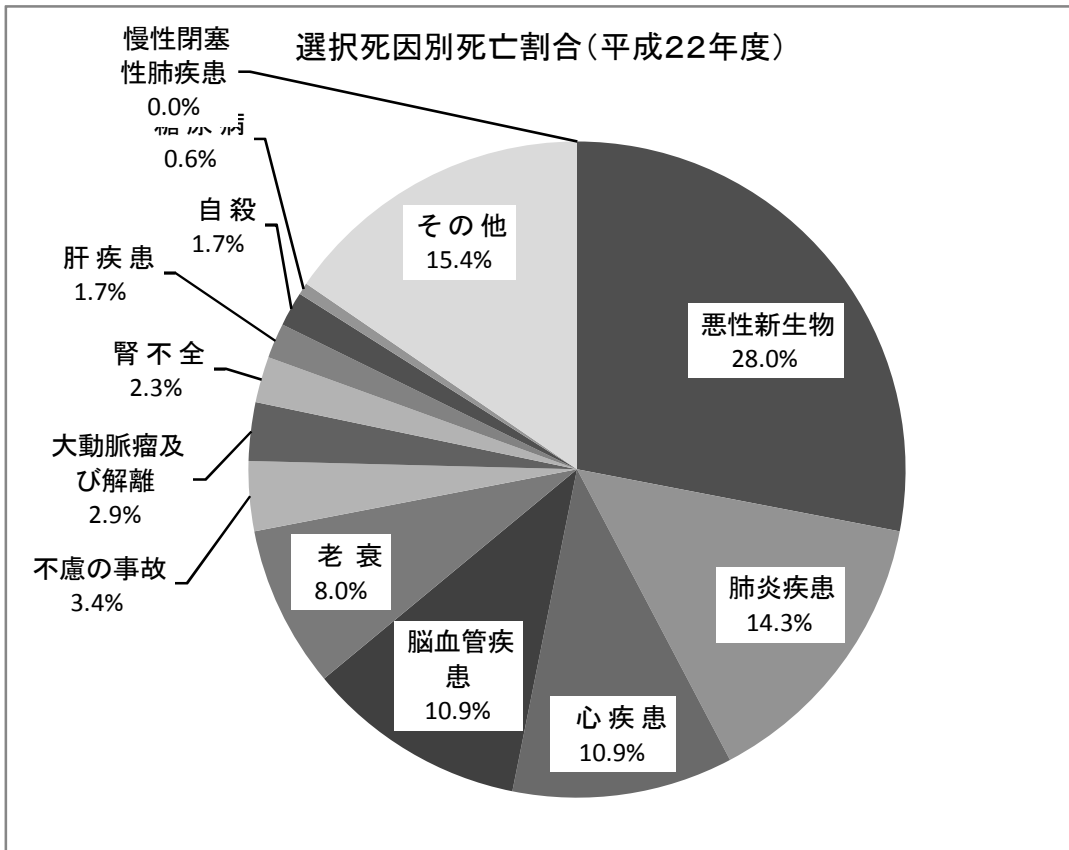
（単位：人）

年齢 (歳)	結核	悪性新生物	糖尿病	高血圧	心疾患	脳血管疾患	大動脈瘤及び解離	肺炎疾患	慢性閉塞性肺疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺	その他	総数
0～9																	0
10～19														1			1
20～29																	0
30～39		1						1							1		3
40～49														1		1	2
50～59		5				2											7
60～69		12				3	2							1	1	5	24
70～79		8	1		2	4	1	7			2	3		1	1	6	36
80～89		16			12	6	2	9			1		4	1		12	63
90～		7			5	4		8				1	10	1		3	39
計	0	49	1	0	19	19	5	25	0	0	3	4	14	6	3	27	175

## (2) 悪性新生物 部位別死亡数（平成23年）

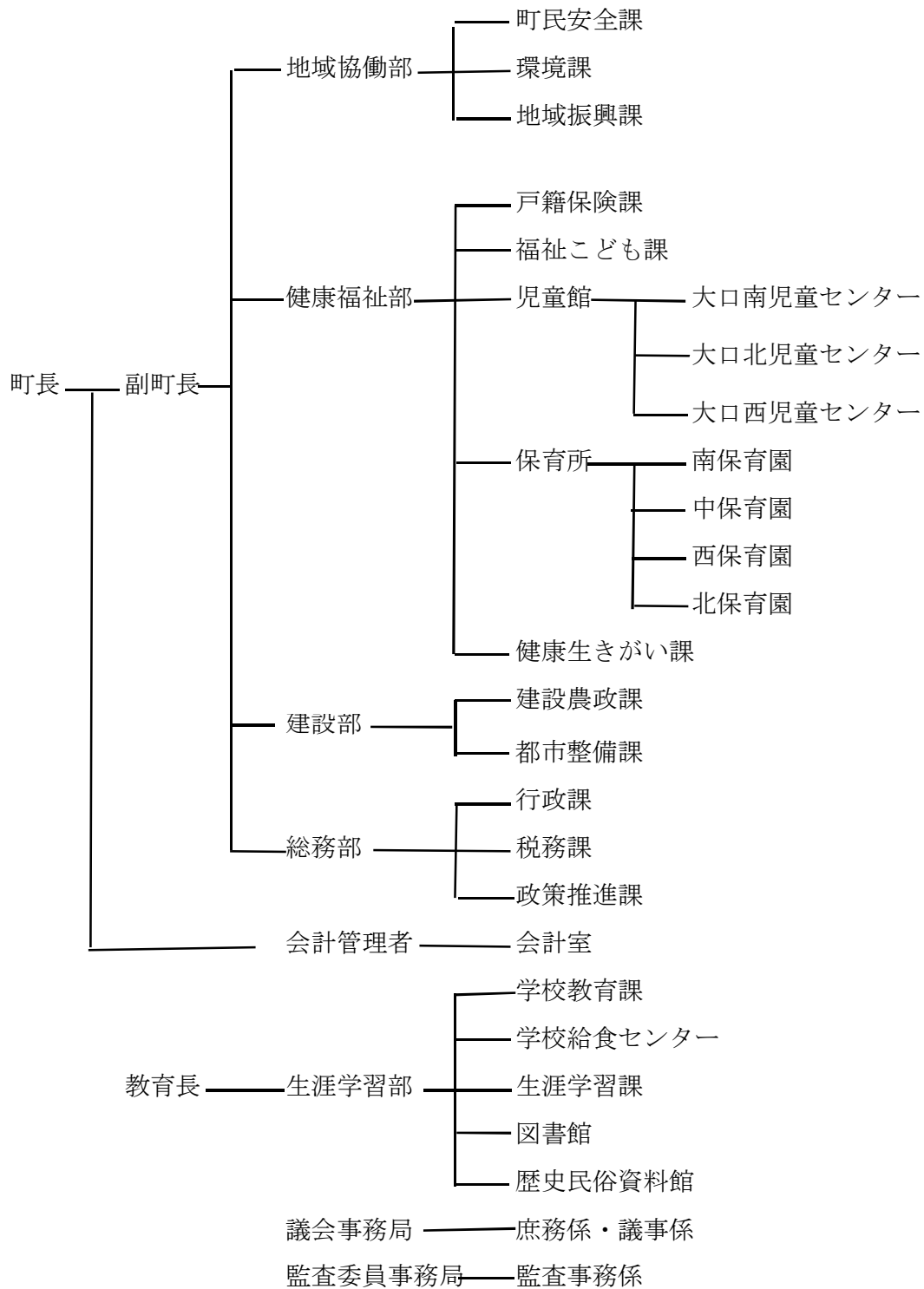
（単位：人）

年齢 (歳)	食道	及び口唇、 咽頭、口腔	胃	大腸・ 肛門	肝臓	胆のう	すい臓	膀胱	肺・ 気管支炎	乳	子宮	前立腺	悪性リンパ腫	白血病	その他	総数
0～9																0
10～19																0
20～29																0
30～39															1	1
40～49																0
50～59	1	1		3												5
60～69			1	3					4	1	1				2	12
70～79			2		1				3					1	1	8
80～89			2		2	2	1	1	3	1		1	1		2	16
90～						1	1		2	2	1					7
計	1	1	5	6	3	3	2	1	12	4	2	1	1	1	6	49



## 6 大口町組織図

(平成23年4月1日現在)



### 各種団体

社会福祉協議会 (在宅介護サービス、地域福祉事業、相談窓口)  
 コミュニティー・ワークセンター (軽作業請負、派遣)

## 7 保健センター（健康文化センター）の概要

平成 10 年健康づくりの中核拠点、健康と福祉の交流拠点、歴史と文化のふれあい拠点として、健康文化センターが建設され、保健センターも健康文化センター内に移転した。

### (1) 施設の概要（健康文化センター含む）

- ・位置 丹羽郡大口町伝右一丁目 3 5 番地
- ・本館 構造 鉄筋コンクリート造 5 階建  
(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)
  - 1 階 1,847.40 m<sup>2</sup> 保健センター（専用面積 974.78 m<sup>2</sup>）
  - 2 階 1,639.98 m<sup>2</sup> 保健センター（専用面積 611.92 m<sup>2</sup>）  
社会福祉協議会
  - 3 階 1,106.63 m<sup>2</sup> 歴史民俗資料館
  - 4 階 1,106.63 m<sup>2</sup> 研修センター
  - 5 階 1,106.63 m<sup>2</sup> トレーニングセンター
  - PH 階（機械室） 167.04 m<sup>2</sup>
- ・機械棟 構造 鉄筋コンクリート造  
床面積 168.00 m<sup>2</sup>
- ・駐輪場 構造 鉄骨造  
床面積 40.00 m<sup>2</sup>  
(延床面積 7,182.31 m<sup>2</sup>)
- ・敷地面積 10,413.95 m<sup>2</sup>  
(内訳) 本 体 施 設 5,069.95 m<sup>2</sup>  
ふれあい広場、駐車場 5,344.00 m<sup>2</sup>
  
- ・本体施設の工期
  - 着工 平成 9 年 6 月 24 日
  - 竣工 平成 10 年 9 月 24 日
- ・使用開始年月日  
平成 10 年 11 月 9 日

### (2) 保健センターの主要施設

- 1 階 事務室・応接室・栄養実習室・栄養指導室・会議室・相談室・機能回復  
訓練室・作業室・多目的室・検査室・授乳室
  
- 2 階 待合室・予診室・計測室・診察室・歯科室・保健指導室・聴力室・カルテ  
庫・消毒室・検査室・プレイルーム・授乳室

### (3) 事務分掌

- ア 予防接種に関すること。
- イ 感染症に関すること。
- ウ 救急医療に関すること。
- エ 保健センターの管理運営に関すること。
- オ 地域保健対策に関すること。
- カ 医療団体等に関すること。
- キ 母子保健に関すること。
- ク 成人保健に関すること。
- ケ 健康増進に関すること。
- コ 健康推進員に関すること。
- サ 健康おおぐち21計画の推進に関すること。
- シ 介護保険等の認定調査に関すること。
- ス 健康文化センターに関すること。
- セ その他保健衛生に関すること。

### (4) 主な事業内容

母子保健…母子健康手帳交付説明会、妊婦相談、妊婦・乳児健康診査、妊婦歯科健診、フレッシュママの会、乳幼児健康診査（4か月児・10か月児・1歳6か月児・3歳児）、離乳食教室、子育て相談室、たんぼぼ教室、2歳3か月児歯科健診、一般不妊治療費助成事業、子育てサークル等支援

成人保健…住民結核検診、特定健康診査・特定保健指導、肝炎ウイルス検診、がん検診（胃・子宮・肺・乳・大腸・前立腺）、一般健康診査、わかば健康診査、骨密度測定、健康手帳交付、健康相談、栄養相談、歯科相談、歯周病予防健診、わかば健診事後指導、高齢者の健康づくり教室（しなやかお達者の会、ひだまりの会）、歩く健康の集い、健康づくり自主グループ支援、依頼による健康教育

予防接種…集団接種：急性灰白髄炎（ポリオ）、BCG接種  
個別接種：麻疹・風疹混合（MR）、三種混合、二種混合、日本脳炎、麻疹、風疹、インフルエンザ（65歳以上等）  
任意接種：子宮頸がん ヒブ 肺炎球菌  
高齢者肺炎球菌（助成事業）

家庭訪問…第1子出生児全員及び第2子以降の希望者、低出生体重児（2000g以上）及び里帰り等の希望者、乳幼児健診事後フォロー、虐待予防、精神障害者、介護保険認定調査等

健康推進事業…健康おおぐち21計画推進事業、健康推進員活動、健康まつり等

その他…健康文化センター維持管理

## 8 保健活動の変遷

区分 年度	保 健 衛 生 行 政		法・その他
	母 子 保 健	成 人 保 健	
17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの健康に関する連絡会開催(月1回)</li> <li>・BCG直接接種となる(4月)</li> <li>・日本脳炎予防接種の積極的接種勧奨を見合わせる(5月)</li> <li>・日本脳炎予防接種第3期接種を廃止(7月)</li> <li>・二種混合予防接種第1期接種を廃止(7月)</li> <li>・ちゅーりっぷの会中止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本健康診査を除く各種検診を有料とする</li> <li>・歯周病予防健診(節目年齢)を医療機関委託で実施(8月～10月)</li> <li>・わかば健診時歯科健診実施</li> <li>・8020運動表彰を「健康ウォーク&amp;元気まつり」時に実施</li> <li>・介護予防教室(しなやかお達者教室)をあいち健康プラザとタイアップで実施</li> <li>・大屋敷ひだまりの会休止(3月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護法施行(4月)</li> <li>・発達障害支援法施行(4月)</li> <li>・医療観察法施行(7月)</li> <li>・健康おおぐち21推進イベントとウォーキング大会を1本化し協働事業で実施</li> <li>・健康おおぐち21シンボルマーク愛称公募し決定(11月)</li> <li>・第6次大口町総合計画策定(3月)</li> <li>・保健師1名退職(3月)</li> <li>・大口町母子通園事業試行(4月～3月)</li> <li>・在宅介護支援センター廃止(3月)</li> <li>・看護師1名育休(1月～3月)</li> </ul>
18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻しん風しん混合ワクチン接種施行(4月)</li> <li>・個別予防接種が二市二町共通要領にて実施となる(4月)</li> <li>・麻しん及び風しんの単抗原ワクチンも法定内接種となる(6月)</li> <li>・母親教室の名称を変更し、内容を改編し、パパママ教室を育児編・栄養編として実施(各年6回)</li> <li>・たんぼぼ教室を月2回実施</li> <li>・9か月児健診を10か月児健診とする</li> <li>・マタニティーホルダーを希望者に配布開始(1月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防教室(しなやかお達者教室)を豊田地区で実施</li> <li>・男性のための健康づくり教室元気UPヘルシーライフ教室実施</li> <li>・住民結核検診の対象が40歳以上となる</li> <li>・ひだまりの会(中小口)の健康チェックをハートフルへ委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターを町直営で開始(保健師1名福祉課へ異動)</li> <li>・看護師1名育休(4月～3月)</li> <li>・管理栄養士1名産育休(9月～3月)</li> <li>・改正介護保険法の施行</li> <li>・がん対策基本法の制定(6月)(施行は19年4月)</li> <li>・障害者自立支援法の施行(4月)</li> <li>・高齢者・障害者等の移動等の円滑化に関する法律(新バリアフリー法)の制定(6月)</li> <li>・健康保険法等の一部改正法(医療制度改革関連法)制定・公布(7月)</li> <li>・歯科衛生士(臨時)1名常勤採用(4月)</li> <li>・母子通園事業本格実施</li> </ul>



区分 年度	保 健 衛 生 行 政		法・その他
	母 子 保 健	成 人 保 健	
19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦歯科健康診査を医療機関に委託で実施</li> <li>・プレママ交流会（栄養編・育児編）の実施</li> <li>・歯科健診の対象者を2歳3か月児とする</li> <li>・1歳6か月児健診時の歯科染めだしを廃止</li> <li>・子育て相談室に心理相談員を組み入れる</li> <li>・西小学校区連絡会発足（健康部会に参加）</li> <li>・妊婦健康診査の公費負担を4～9月までは4回、10月から7回で実施</li> <li>・一般不妊治療費の助成を実施（10月）</li> <li>・予防接種法施行規則の一部を改正する省令施行（12月）</li> <li>・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令（20年1月）</li> <li>・麻疹に関する特定感染症予防指針（20年1月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳がん健診の医療機関での視触診のみを廃止、集団での超音波による健診を導入</li> <li>・国保連合会事業として「ヨーガ」教室を実施</li> <li>・介護予防事業のための人材育成（貯筋体操ひろめ隊）講座を実施</li> <li>・介護予防連絡会開始（地域包括支援センターより発信）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師1名育休（4月～3月）</li> <li>・管理栄養士1名育休（4月～3月）</li> <li>・保健師1名育休（9月～3月）</li> <li>・健康おおぐち21中間評価を実施</li> <li>・健康まつり運営事業を「健康クラブ笑顔21」と協働契約で委託実施</li> <li>・老人保健法の改正（20年3月）</li> </ul>
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3期・4期麻しん風しん混合ワクチン接種施行（5月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国保連合会事業として生き生き教室実施</li> <li>・特定健診、特定保健指導開始（4月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師1名育休（4月～3月）</li> <li>・保健師1名育休（4月～3月）</li> <li>・保健師1名育休（11月～3月）</li> <li>・老人保健法の改正により、法律名が「高齢者の医療の確保に関する法律」に変更され施行（4月）</li> </ul>

区分 年度	保 健 衛 生 行 政		法・その他
	母 子 保 健	成 人 保 健	
2 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦健康診査の公費負担を14回で実施</li> <li>・日本脳炎ワクチンに加え、「乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン」を定期の予防接種に用いるワクチンとして追加する(6月)</li> <li>・予防接種実施規則の一部を改正する省令の施行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳がん・子宮がん検診実施医療機関を拡大</li> <li>・女性特有のがん検診推進事業開始(9月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機構改革により、健康課から健康生きがい課となる。</li> <li>・看護師1名育休 (4月～3月)</li> <li>・保健師1名育休 (4月～3月)</li> <li>・保健師1名育休 (5月～3月)</li> <li>・保健師1名育休 (3月～ )</li> <li>・アメリカで豚由来のインフルエンザウイルスの患者を確認と公表</li> <li>・WHO「フェーズ6(世界的流行)宣言 国「基本的対処方針」策定 国「新型インフルエンザワクチン接種の基本方針」策定</li> </ul>
2 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳に対する日本脳炎初回接種の積極的勧奨が再開(4月) 日本脳炎ワクチンが使用不可となり、「乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン」のみの使用 第2期接種再開となる 9歳以上13歳未満で第1期未接種者を接種対象とする特例が出る(8月)</li> <li>・「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例基金事業」により、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用の一部助成が開始(1月)</li> <li>・妊婦健康診査の公費負担項目に子宮頸がん、GBSが追加。超音波検査の年齢条件がなくなり、検査は4回実施。乳児健康診査受診票が1回のみとなる</li> <li>・パパママ教室、プレママ交流会の休止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性特有のがん検診事業 クーポン券5月に発送 1月に未受診者に受診勧奨通知</li> <li>・前立腺がん検診定員を拡大</li> <li>・介護・保険・健康の連携した取り組みを開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師3名育休 (4月～3月)</li> <li>・管理栄養士1名育休 (4月～3月)</li> <li>・保健師1名退職 (12月)</li> <li>・地域包括支援センターをハートフル大口へ委託(4月)</li> <li>・新型インフルエンザ(A/H1N1)ワクチン接種事業が終了(23年3月)</li> </ul>

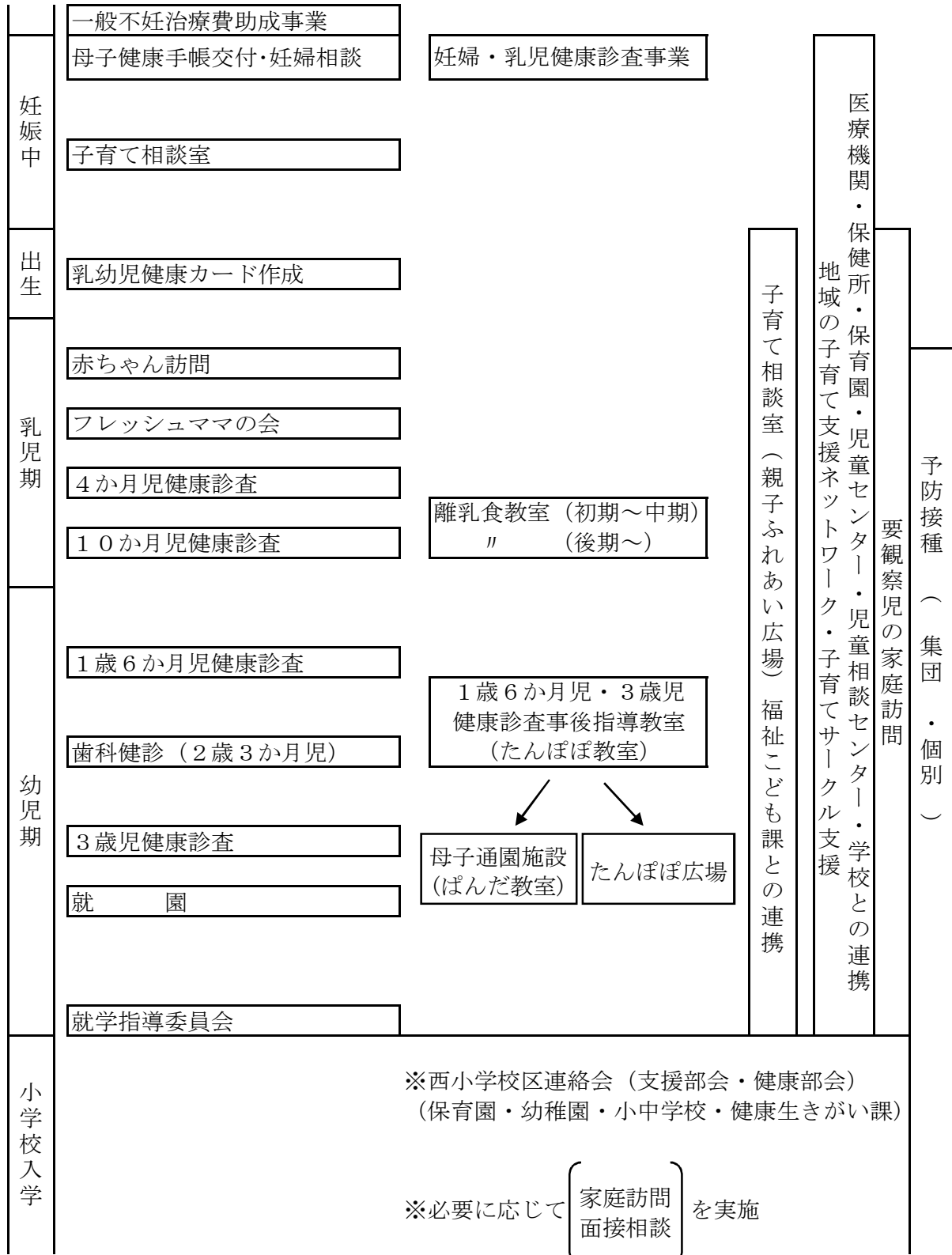
区分 年度	保 健 衛 生 行 政		法・その他
	母 子 保 健	成 人 保 健	
23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦健診8回目にHTLV-1とクラミジア抗体検査を追加</li> <li>・子育て相談室の第1週目を廃止(平成24年1月～)</li> <li>・4か月健診時 母乳相談を開始(平成24年1月～)</li> </ul> <p>&lt;予防接種&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本脳炎の年齢枠が拡大(H7.6.1生まれ～H19.4.1生まれ 20歳未満の間接種可)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかば健診時に実施していた歯科健診を中止</li> <li>・大腸がん検診を各種集団がん検診時に申し込みできる体制にする。</li> <li>・高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業開始(6月～)</li> <li>・歯周病予防健診を年間を通じて実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師1名戸籍保険課へ異動</li> <li>・看護師1名産休育休(9月～3月)</li> <li>・保健師1名育休(4月～3月)</li> </ul>

※平成元年～15年までは「平成21年度保健活動のまとめ」に記載。

16年は「平成22年度保健活動のまとめ」に記載。

## 2 母子保健活動

# 母子保健 管理体系



※事故予防教育  
（乳幼児健康診査）

# 1 母子保健事業の取り組み

母子保健事業は、妊娠・出産・育児を通して母性や父性が育まれ、乳幼児が愛され、かつ心身ともに健やかに育つことを目指している。個々の発達や親の育児力に合わせた保健指導を行い、子育ての支援を行った。

乳幼児健診においては、精神発達面でのフォロー児が多く、継続的に個々にあった支援を行う必要があり、乳幼児健診事後教室と母子通園施設、たんぽぽ広場、保育園等関係部署と連携し継続的な支援に努めた。

# 2 母子健康手帳の交付・妊婦相談

## (1) 目的

妊婦の健康を守り健全な児を生き育てることができるよう保健指導する。

## (2) 内容

母子健康手帳の交付及び講話（母子健康手帳の使い方、保健センターの事業、妊娠中の生活、お母さんと赤ちゃんの歯の健康について）、出産のビデオ、交流会

## (3) 妊娠届出状況

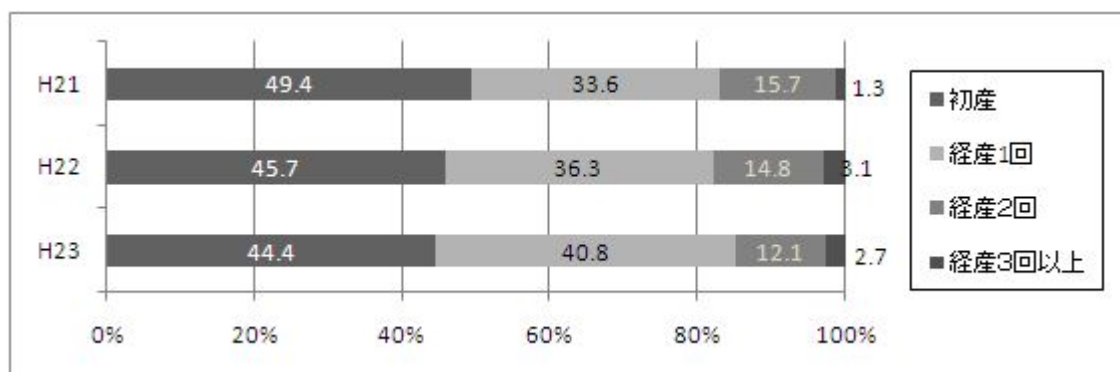
### ア 届出時の妊娠週数

(単位：上段・人 下段・%)

区分 年度	総数	妊 娠 週 数				就業	喫煙	飲酒	年 齢	
		11週以内	12～19週	20～27週	28週以降				20歳未満	40歳以上
21	229 (100.0)	165 (72.0)	62 (27.1)	2 (0.9)	0 (0.0)	100 (43.7)	4 (1.7)	4 (1.7)	3 (1.3)	4 (1.7)
22	256 (100.0)	243 (94.9)	12 (4.7)	0 (0.0)	1 (0.4)	124 (48.4)	5 (2.0)	3 (1.2)	3 (1.2)	7 (2.7)
23	223 (100.0)	186 (83.4)	35 (15.7)	2 (0.9)	0 (0.0)	115 (51.6)	5 (2.2)	3 (1.3)	2 (0.9)	2 (0.9)

※母子手帳発行時アンケートでは、「喫煙していたがやめた」と答えた妊婦は49名、「飲酒していたがやめた」と答えた妊婦は84名いた。

### イ 年次別経産・初産の割合



### 3 妊婦・乳児健康診査

(1) 目的

妊婦・乳児の異常を早期に発見し適切に対処することで妊娠の正常な経過や安全な分娩、乳児の個々にあった発達を支援する。

(2) 対象 妊婦および乳児

(3) 内容

医療機関委託による妊婦健康診査（14回分、子宮頸がん）、妊婦歯科健康診査及び乳児健康診査（1か月児）

(4) 結果（平成23年4月～平成24年3月受診者）

ア 妊婦健康診査受診結果

（単位：人）

	受診人員	異常なし	所見あり	所見あり（延件数）							
				高血圧 蛋白尿	尿糖 血糖	貧血	HBs抗原 陽性	GBS	HTLV-1	性器 クラミジア	その他
第1回	226(6)	213(6)	13(0)	1(0)	5(0)	7(0)	0(0)				2(0)
第2回	225(7)	208(7)	17(0)	1(0)	1(0)	16(0)					1(0)
第3回	214(8)	199(8)	15(0)	1(0)	1(0)	13(0)					0(0)
第4回	210(6)	194(6)	16(0)	1(0)	3(0)	10(0)					3(0)
第5回	214(7)	208(7)	6(0)	0(0)	0(0)	5(0)					1(0)
第6回	214(7)	198(7)	16(0)	0(0)	1(0)	13(0)					3(0)
第7回	219(8)	210(8)	15(0)	0(0)	3(0)	10(0)					2(0)
第8回	221(6)	146(5)	69(1)	7(0)	0(0)	60(1)		10(0)	(0)	(0)	3(0)
第9回	213(15)	196(12)	17(3)	2(0)	0(0)	14(1)					2(2)
第10回	201(18)	189(15)	12(3)	4(1)	0(0)	8(1)		(0)			1(1)
第11回	178(19)	170(19)	8(0)	2(0)	0(0)	7(0)					0(0)
第12回	189(16)	126(16)	55(1)	1(0)	0(0)	54(1)					1(0)
第13回	138(14)	131(13)	6(0)	1(0)	1(0)	5(0)					0(0)
第14回	81(6)	76(6)	5(0)	1(0)	0(0)	4(0)					0(0)
計	2743(143)	2464(135)	270(8)	22(1)	15(0)	226(4)	0(0)	10(0)	(0)	(0)	19(3)

※1 ( )内は県外受診の再掲

イ 子宮頸がん検査

（単位：人）

受診人数	異常なし	所見あり	所見あり（再掲）				
			Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	Ⅴ	要精検
202(3)	200(3)	2(0)	1	0	0	0	1

※1

ウ 乳児健康診査受診結果（単位：人）

受診人員	異常なし	所見あり (延件数)
211(17)	200(17)	11*

\* 筋性斜頸1、母指屈曲位1、軽度肺動脈狭窄症1  
心雑音2、ガラクトース血症1、母乳性黄疸1  
体重増加不良2、左側尿管狭窄症1、湿疹1

## 4 一般不妊治療費助成事業

### (1) 目的

子どもを生き育てたいという希望を持ちながら子どもができない夫婦に対し、不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、少子化対策の充実に資する。

### (2) 助成額

一般不妊治療に要した自己負担額の1/2相当額(1年度あたりの上限度額5万円)

### (3) 助成期間

通算2年間(月を単位として期間で数え、助成を開始した最初の月から2年間)

### (4) 助成状況

項目 年度	申請件数	母子手帳発行数
21	19(7)件	10人
22	18(4)件	1人
23	25(12)件	7人

※( )内は、2回目以降の申請件数の再掲

## 5 フレッシュママの会

### (1) 目的

出産をして間もない時期は、外出する機会も少なく、母親が1人で育児の悩みを抱えやすい。同じ立場の母親たちと集うことにより、母親同士が共感し前向きに育児に取り組めるよう支援する。

### (2) 対象 生後1～3か月頃の乳児と母親

### (3) 日時 偶数月第4金曜日 午後2時～3時30分

### (4) 内容及び従事者

内 容	従事者
<ul style="list-style-type: none"> <li>・座談会</li> <li>・予防接種の説明</li> <li>・赤ちゃんの計測(希望者)</li> <li>・ベビーマッサージ</li> </ul>	保健師 助産師

### (5) 参加状況

項目 年度	実施回数	参加者数(初産)
21	6	65組(46組)
22	6	94組(71組)
23	6	85組(51組)

## 6 低体重児の状況

(単位:人・%)

分類 年度	出生 児数	低体重児 出生数	率	1,300g 未満	1,300～ 1,499g	1,500～ 1,799g	1,800～ 1,999g	2,000～ 2,299g	2,300～ 2,499g
19	254	20	7.9	2	0	0	0	4	14
20	252	21	7.9	2	0	0	2	4	13
21	238	17	7.1	2	0	0	1	4	10
22	234	17	7.3	0	0	2	1	4	10
23	221	26	11.8	1	1	4	4	4	12
愛知県 (22)	69,872	6,815	9.7	325	149	360	533	1,850	3,598

※2,000g以上の低体重児は町の保健師が訪問している。



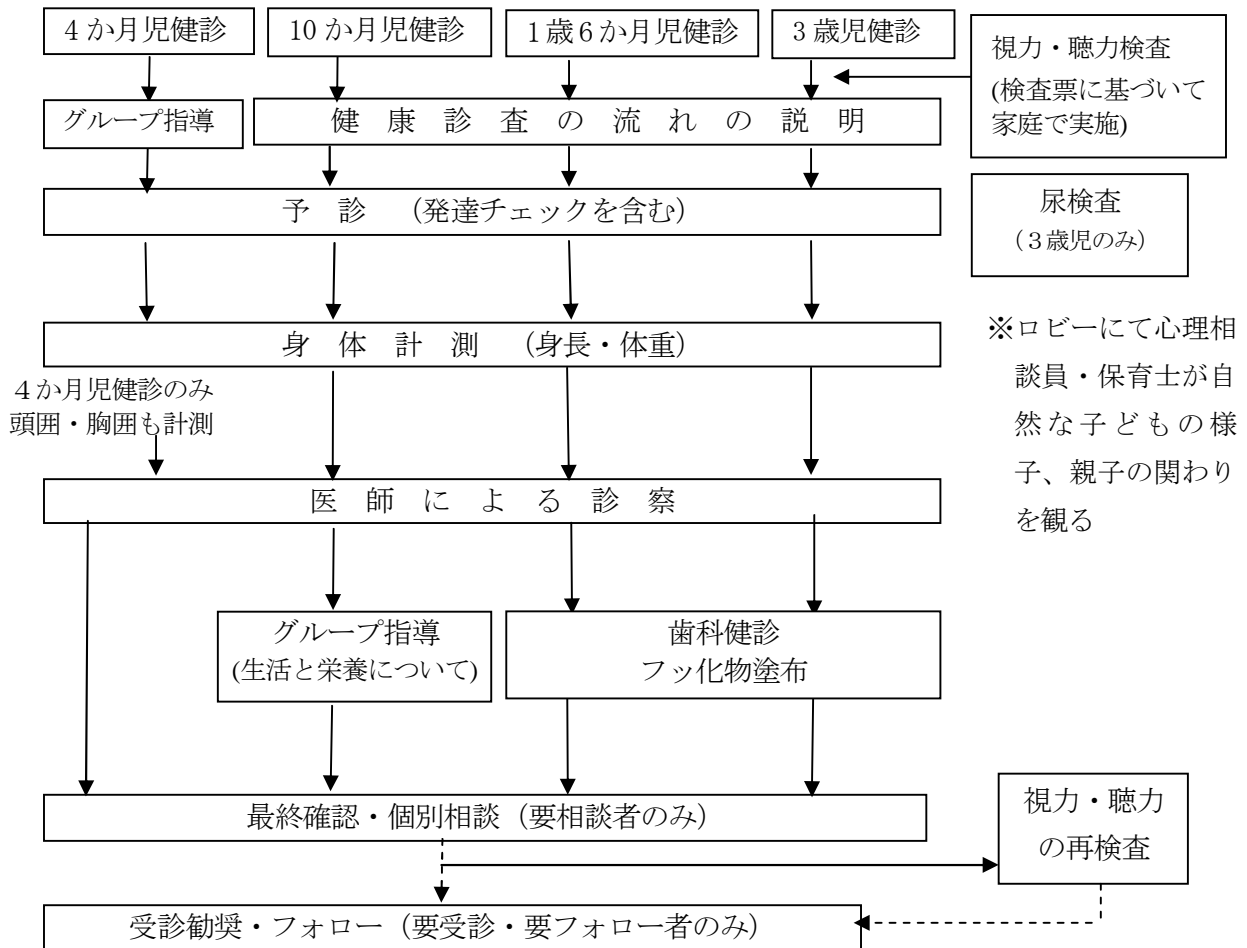
## 7 乳幼児健康診査

平成23年度より、平成23年3月に全面改訂された愛知県母子健康診査マニュアルに基づいて健診を行った。改訂後のマニュアルでは、健診情報を健診の精度管理等に活用できるよう判定方法や基準が見直された。

### (1) 目的

乳幼児期の大切な節目である時期に、発育発達状況を確認することで疾病や心身障害の早期発見に努める。また、個々の成長、育児に合わせた保健指導を行い子育てを支援する。

### (2) 内容



(3) 実施状況

ア 4か月児健康診査

(ア) 受診状況・受診結果

(単位：回・人・%)

区分 年度	実施 回数	対象児数	受診状況		健診結果						
			受診者数	受診率	疾病分類				保育・家庭環境分類		
					問題なし	要指導	要観察	要医療 要精検 要継続医療	要指導	要観察	要措置 要管理
20	12	250	249	99.6	171	14	38	30	6	10	0
21	12	240	236	98.3	161	24	38	21	6	4	0
22	12	231	228	98.7	155	36	29	14	6	11	0

区分 年度	実施 回数	対象児数	受診状況		健診結果				精密検査受診結果				
			受診者数	受診率	異常 なし	既医療	要観察	要医療 要精密	精密検査 実施者	異常 なし	要観察	要医療※	
												精神	身体
23	12	231	226	97.8	203	10	8	5	3	1	1	0	1

※ 股関節亜脱臼

(単位：人)

子育て支援の必要性	支援不要	助言・ 情報提供	保健機関 継続支援	他機関 連携支援
子の要因（発達）	216(95.6%)	0(0.0%)	10(4.4%)	0(0.0%)
子の要因（その他）	207(91.6%)	4(1.8%)	15(6.6%)	0(0.0%)
親、家庭の要因	210(92.9%)	10(4.4%)	6(2.7%)	0(0.0%)
親子の関係性	226(100.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)
授乳	215(95.1%)	11(4.9%)	0(0.0%)	0(0.0%)
実件数	184(81.4%)	14(6.2%)	29(12.8%)	0(0.0%)

イ 10か月児健康診査

(単位：回・人・%)

区分 年度	実施 回数	対象児数	受診状況		健診結果						
			受診者数	受診率	疾病分類				保育・家庭環境分類		
					問題なし	要指導	要観察	要医療 要精検 要継続医療	要指導	要観察	要措置 要管理
20	12	245	238	97.1	168	7	30	25	20	12	0
21	12	256	248	96.9	179	14	25	30	18	16	0
22	12	219	215	98.2	132	16	37	16	15	24	0

区分 年度	実施 回数	対象児数	受診状況		健診結果				精密検査受診結果				
			受診者数	受診率	異常 なし	既医療	要観察	要医療 要精密	精密検査 実施者	異常 なし	要観察	要医療	
												精神	身体
23	12	233	230	98.7	205	9	14	2	0	0	0	0	0

(単位：人)

子育て支援の必要性	支援不要	助言・ 情報提供	保健機関 継続支援	他機関 連携支援
子の要因（発達）	206(89.6%)	14(6.1%)	10(4.3%)	0(0.0%)
子の要因（その他）	214(93.0%)	5(2.2%)	11(4.8%)	0(0.0%)
親、家庭の要因	192(83.5%)	26(11.3%)	12(5.2%)	0(0.0%)
親子の関係性	230(100.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)
実件数	160(69.6%)	46(20.0%)	31(13.5%)	0(0.0%)

ウ 1歳6か月児健康診査

(ア) 受診状況・受診結果

(単位：回・人・%)

区分 年度	実施 回数	対象児数	受診状況		健診結果						
			受診者数	受診率	疾病分類				保育・家庭環境分類		
					問題なし	要指導	要観察	要医療 要精検 要継続医療	要指導	要観察	要措置 要管理
20	13	261	257	98.5	98	15	141	13	23	8	0
21	12	241	241	100.0	71	20	150	20	23	15	0
22	12	241	238	98.8	83	17	133	27	19	11	0

区分 年度	実施 回数	対象児数	受診状況		健診結果				精密検査受診結果				
			受診者数	受診率	異常 なし	既医療	要観察	要医療 要精密	精密検査 実施者	異常 なし	要観察	要医療	
												精神	身体
23	12	208	202	97.1	173	9	20	0	0	0	0	0	0

(単位：人)

子育て支援の必要性	支援不要	助言・ 情報提供	保健機関 継続支援	他機関 連携支援
子の要因（発達）	83(41.1%)	14(6.9%)	105(52.0%)	0(0.0%)
子の要因（その他）	191(94.5%)	6(3.0%)	5(2.5%)	0(0.0%)
親、家庭の要因	182(90.1%)	16(7.9%)	4(2.0%)	0(0.0%)
親子の関係性	202(100.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)
実件数	75(37.1%)	36(17.8%)	108(53.5%)	0(0.0%)

エ 3歳児健康診査

(ア) 受診状況・受診結果

(単位：回・人・%)

区分 年度	実施 回数	対象児数	受診状況		健診結果						
			受診者数	受診率	疾病分類				保育・家庭環境分類		
					問題なし	要指導	要観察	要医療 要精検 要継続医療	要指導	要観察	要措置 要管理
20	12	228	217	95.2	81	39	111	30	23	4	0
21	13	265	260	98.1	107	27	148	37	22	8	0
22	12	233	219	94.0	107	15	109	33	6	5	0

区分 年度	実施 回数	対象児数	受診状況		健診結果				精密検査受診結果				
			受診者数	受診率	異常 なし	既医療	要観察	要医療 要精密	精密検査 実施者	異常 なし	要観察	要医療※	
												精神	身体
23	12	248	252	101.6	175	15	29	33	26	12	12	0	2

前年度対象者の受診が多かったため、受診率が100%を超えている

※ 近視性乱視、斜視、遠視

(単位：人)

子育て支援の必要性	支援不要	助言・ 情報提供	保健機関 継続支援	他機関 連携支援
子の要因（発達）	164(65.1%)	31(12.3%)	38(15.1%)	19(7.5%)
子の要因（その他）	237(94.0%)	3(1.2%)	10(4.0%)	2(0.8%)
親、家庭の要因	241(95.6%)	9(3.6%)	2(0.8%)	0(0.0%)
親子の関係性	251(99.6%)	0(0.0%)	1(0.4%)	0(0.0%)
実件数	151(59.9%)	40(15.9%)	49(19.4%)	21(8.3%)

※ 健診結果はすべて延べ人数

## 8 家庭訪問

### (1) 赤ちゃん訪問

#### ア 目的

すべての乳児のいる家庭に対し、家庭訪問により児と母親の健康状態を確認し個々に応じた適切な保健指導を行う。

イ 対象 乳児のいる家庭・家族

ウ 内容 児の発育発達チェック・育児相談・保健指導

エ 従事者 保健師・在宅助産師

#### オ 訪問状況

(単位：件・人)

	訪問件数			内訳		
	保健師	助産師	合計	新生児	低出生体重児	乳児
乳児	47	160	207	45	23	139
産婦	45	159	204			

※双胎 3 件

※未訪問件数 5 件 (平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月生まれ)

### (2) 要観察児等訪問

#### ア 目的

若年や妊娠高血圧症などのハイリスク妊婦、発達・発育に問題のある乳幼児、育児不安や家庭環境に問題のある親子、乳幼児健診未受診児等に対し、家庭にあったきめ細やかな保健指導を行い安心して育児ができるよう支援する。

#### イ 対象

ハイリスク妊婦

健診要観察児、健診未受診児

#### オ 従事者

保健師

#### カ 訪問状況

(単位：人)

	実人員	延人員
妊婦	0	0
産婦	0	0
乳児	2	3
幼児	22	31
計	24	34

## 9 子育て相談室

### (1) 目的

- ア 親子との交流を通して保護者の育児不安の軽減や仲間づくりを支援する。
- イ 健診要観察児の発育・発達を確認する。
- ウ 児の成長発達に合わせた育児を具体的に支援する。
- エ 妊娠中から子育てに対する心の準備ができるよう子どもの姿を見たり触れたりする機会を提供する。

### (2) 対象

乳幼児とその保育者、妊婦

### (3) 日時

第1・第3月曜日 午前9時30分～11時30分（第3月曜日は予約制）

### (4) 内容

第1月曜日：身体計測（身長・体重）・個別相談

第3月曜日：身体計測（身長・体重）・個別相談・尿検査・視力検査・聴力検査

### (5) 従事者

第1月曜日：保健師・管理栄養士・助産師・歯科衛生士・事務員

第3月曜日：保健師・管理栄養士（必要に応じて歯科衛生士）※奇数月のみ心理相談員

### (6) 実施状況

ア 来所者数

（単位：人）

	実人員	延人員	乳児		幼児		妊婦	
			実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
21	383	1,343	192(21)	572(49)	190(26)	769(61)	1(1)	1(1)
22	378	1,128	186(25)	521(50)	192(38)	607(77)	0(0)	0(0)
23	293	832	128(26)	365(56)	165(43)	467(68)	0(0)	0(0)

\*（ ）は第3月曜日の相談者を再掲。H24年1月より第1月曜日の相談事業は廃止。

イ 相談内容

（単位：人）

	乳児	幼児	妊婦	計
身体（発達・発育）	80	108	0	188
心理相談員再掲	0	15	0	15
栄養（母乳・離乳食等）	144	69	0	213
助産師再掲	30	15	0	45
栄養士再掲	51	30	0	81
歯科相談	13	8	0	21
育児・生活	78	85	0	163
予防接種	12	8	0	20
その他	17	18	0	35
計	344	296	0	640

## 10 離乳食教室

### (1) 目的及び対象者等

	前期（らくらく離乳食教室）	後期（もぐもぐ教室）
目的	離乳食の開始から7か月頃の意義について正しく理解し、一生のうちで離乳食期が食習慣の形成に大切な時期であることを認識する。	咀嚼の促しの必要性や歯の萌出に合わせた離乳食の形態を理解し作ることができる。また、離乳食だけではなく、家族の食事としての充実を図る。
対象者	生後5～7か月児とその保護者	生後8～11か月児とその保護者
日時	奇数月第3水曜日（年6回） 午前10時～11時30分	偶数月第3水曜日（年6回） 午前9時30分～11時30分
場所	保健センター1階 栄養実習室・栄養指導室	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>離乳食の開始から7か月頃の講話</li> <li>離乳食のデモンストレーションとその試食</li> <li>個別相談（希望者）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9か月頃以降の進め方についての講話</li> <li>調理実習（親の食事からの取り分け食）</li> <li>試食と個別相談（希望者）</li> </ul>
従事者	管理栄養士 保健師	

### (2) 参加状況

#### (ア) らくらく離乳食教室の参加内訳

参加者数	5か月未満児	5・6か月児	7か月以上児	第1子	第2子以降	個別相談者
83人	22人	60人	1人	68人	15人	44人

※1回当たり 13.8 人の参加

#### (イ) もぐもぐ教室の参加内訳

参加者数	9か月未満児	9・10か月児	11か月以上児	第1子	第2子以降	個別相談者
55人	4人	40人	11人	43人	12人	41人

※1回あたり 9.2 人の参加

前期では、離乳食開始時期が生後6か月以降に計画する保護者が増え、食物アレルギーなどへの不安やすすめ方に不安を感じる保護者が多い。後期では、食材の形態と子どもの食欲や咀嚼の状況及び歯の萌出等の要素がかみ合っていない親子が多い。保護者が正しい知識を持ち、口腔発達の段階を理解して、児の欲求に応じてスムーズに離乳食を進めていけるよう、健診や乳児相談の場でポイントを押さえて支援する必要がある。

## 1.1 たんぽぽ教室

### (1) 目的

ア 1歳6か月・3歳児健診の事後指導の一環として、親子で集団の場を体験しながら、子どもに合わせた関わりを学び、考えていくことでよりよい発達を促す。

イ 経過観察する中で必要に応じ、療育や地域の子育て支援、個別支援へとつなぐ。

### (2) 対象

ア 健診時に育児及び発達上問題があると思われる、経過観察が必要な児とその母親

イ その他、育児環境等に問題があると思われる児とその母親

### (3) 日時・回数

ア 毎月第2・4木曜日 午前9時15分～正午

午後1時～3時 (スタッフ間でカンファレンス)

イ 回数 3か月(6回) 1クール(必要に応じ2クールまで継続参加も可)

### (4) 内容

時 間	内 容
AM9:15～9:45	スタッフ間の事前カンファレンス
9:45～10:25	親子遊び(設定遊び) 手遊び 体操 親子遊びなど
10:25～10:35	トイレ おやつ 排泄、手洗い、あいさつ、後片付けの面で指導
10:35～11:35	母親グループ 話し合い(育児などについて話し合う) 子どもグループ 集団遊び(他児やスタッフとの関わり合い、自由遊び)
11:35～11:45	担当者と母親との話し合い 母子分離している間の児の様子について

### (5) 従事者

言語聴覚士(月1回)・心理相談員(月1回)・保健師・保育士・一宮児童相談センター(心理判定員(年6回))、家庭児童相談員(年12回)、母子通園保育士(年6回)

### (6) 実施状況

(単位:回・組・人)

参加者の年齢の内訳

項目 年度	実施 回数	参加者数	参加親子組数 (延べ)	平均参加組数
21	23	69(59)	318	13.8
22	24	62(52)	355	14.8
23	24	52(44)	267	11.1

生まれ月	人数
H20.4～H21.3	36
H21.4～H22.3	16
H22.4～H23.3	0

( ) は新規対象児の再掲

### (7) 参加者の状況

(単位:人)

精神発達の問題	精神・運動発達両方の問題	診断名がついている児 (再掲)	その他
51	1	1	0

### (8) 参加者のその後の状況

(単位:人)

母子通園施設	たんぽぽ広場	就園	転出	継続	その他
7	20	10	3	4	8

※たんぽぽ広場参加者の内、平成24年4月より1名、母子通園施設へ通園

## 1 2 子育て支援・他機関との連携

### (1) 中学生子育て体験

#### ア 目的

大口町次世代育成支援行動計画の次代の親を育むための教育事業の一環として実施。子どもたちと触れ合う貴重な体験を通して、自分の成長を振り返り、大切に育ててもらった両親に感謝をし、自分を大切にする気持ちや生命の尊さ、人を思いやる心を養う。

#### イ 対象者及び体験者

大口中学校 1・2・3年生 29人（男子生徒 5人、女子生徒 24人）

#### ウ 日時

平成23年8月3日（水）、8月8日（月）  
各回ともに午前10時00分～11時50分

#### エ 内容

- ・講話 絵本「赤ちゃんてね」「赤ちゃんが生まれる」  
妊娠中の赤ちゃんの様子、乳幼児の発達
- ・ふれあい体験 「コアラ広場」「ちびっこ広場」参加児とのふれあい

#### オ 従事者

児童センター厚生員8人、養護教諭2人、子育てネットワーカー9人  
保健師2人

### (2) たんぽぽ広場連絡会

たんぽぽ広場は、たんぽぽ教室終了後から就園するまでの間の親子のフォローの場として平成18年10月から実施されている。

平成23年度はたんぽぽ広場に3回参加しフォロー児の経過を観察した。必要に応じ連絡会に出席した。

#### ア 実施状況

平成23年9月1日

#### イ 出席者

福祉こども課保育長、保育士（児童センター・保育園・母子通園施設）  
健康生きがい課 保健師

### (3) 大口町療育支援連絡会

大口町全体の乳幼児期の療育等支援の在り方についての検討会を4回実施した。その他、保健センターと保育園等での情報交換を実施し、お互いの情報把握に努めた。今年度は支援者向けの子育て支援マップ作成を中心に行った。

#### ア 実施状況

平成23年5月12日、8月11日、11月10日、平成24年2月9日

#### イ 出席者

福祉こども課(保育長、保育士(保育園・児童センター・母子通園))  
家庭児童相談員、健康生きがい課 保健師



(4) 大口西小学校区連絡会

大口町の子どもたちを取り巻く様々な現状や課題について、19年度に西小学校区連絡会が立ち上がり、保育園・幼稚園・小学校・中学校・保健センターと一緒に検討し合う場をもった。課題が多岐にわたっているため、支援部会・学習部会・健康部会の3部会制をとり、健康生きがい課は支援部会と健康部会に出席した。

ア 日時及び内容

	日 時	内 容
支 援 部 会	平成 23 年 4 月 26 日 (火)	各機関の新年度の様子 今年度の予定
	5 月 24 日 (火)	新年度の様子 研修会の報告(園の中で通級を行っている幼稚園の事例)
	6 月 21 日 (火)	1 年生の児童の様子 もしものときに…子どもの心のケアのために
	9 月 20 日 (火)	夏休み明けの様子 2 年生の児童の様子
	10 月 18 日 (火)	2 年生の児童の様子
	1 月 17 日 (火)	就学時健診の様子 地域連携の視察状況の報告
	平成 24 年 2 月 14 日 (火)	1 日入学にて気になった子どもの様子 6 年生の児童の様子
部 健 会 康	平成 23 年 9 月 20 日 (火)	子どもたちの実態、「命の教育」への取り組み 児童の様子の情報交換

※各回とも、開催時間は午後4時～午後5時30分

イ 場所

大口町立西小学校 相談室

ウ 出席者

幼稚園・保育園・小学校・中学校・健康生きがい課担当者

(5) 要保護児童実務者会議

子どもたちが健やかに成長・発達できるよう児童虐待の予防・早期発見・再発防止のため、関係機関が連携し対策が取れるような体制を整えることを目的とした会議に出席した。(担当は福祉こども課)

ア 日時

原則毎月第1木曜日 午後1時30分～3時30分

イ 場所

健康文化センター1階 会議室

ウ 出席者

一宮児童相談センター2人、尾張福祉相談センター 家庭児童相談員1人、江南保健所2人、福祉こども課2人、学校教育課1人、健康生きがい課1人

(6) ドアノッキング事業

乳幼児期の子育て家庭に対して、親子が地域から孤立することを防ぎ、地域ぐるみで家庭を見守り子育て支援をすることで虐待の防止につなげることを目的に、平成24年1月（平成23年8月生まれ）から民生委員・児童委員による訪問が開始された。

訪問実施にあたり、民生委員・児童委員には子どもの発育や発達、訪問時の注意事項等について、町保健師及び在宅助産師による事前研修会が実施された。

研修会の他、母子健康手帳交付時や赤ちゃん訪問時に事業の紹介をしたり、予防接種時の顔合わせの機会を設けたりして、事業がスムーズに実施されるよう協力した。

(7) 江南厚生病院 ハイリスク養育支援連絡会

江南厚生病院における産後や退院後にハイリスクと思われるケースについて、支援がスムーズに行えるための連絡会に出席した。

ア 日時

平成23年5月24日、8月23日、11月22日、平成24年2月28日

イ 場所

江南厚生病院 2階 多目的室

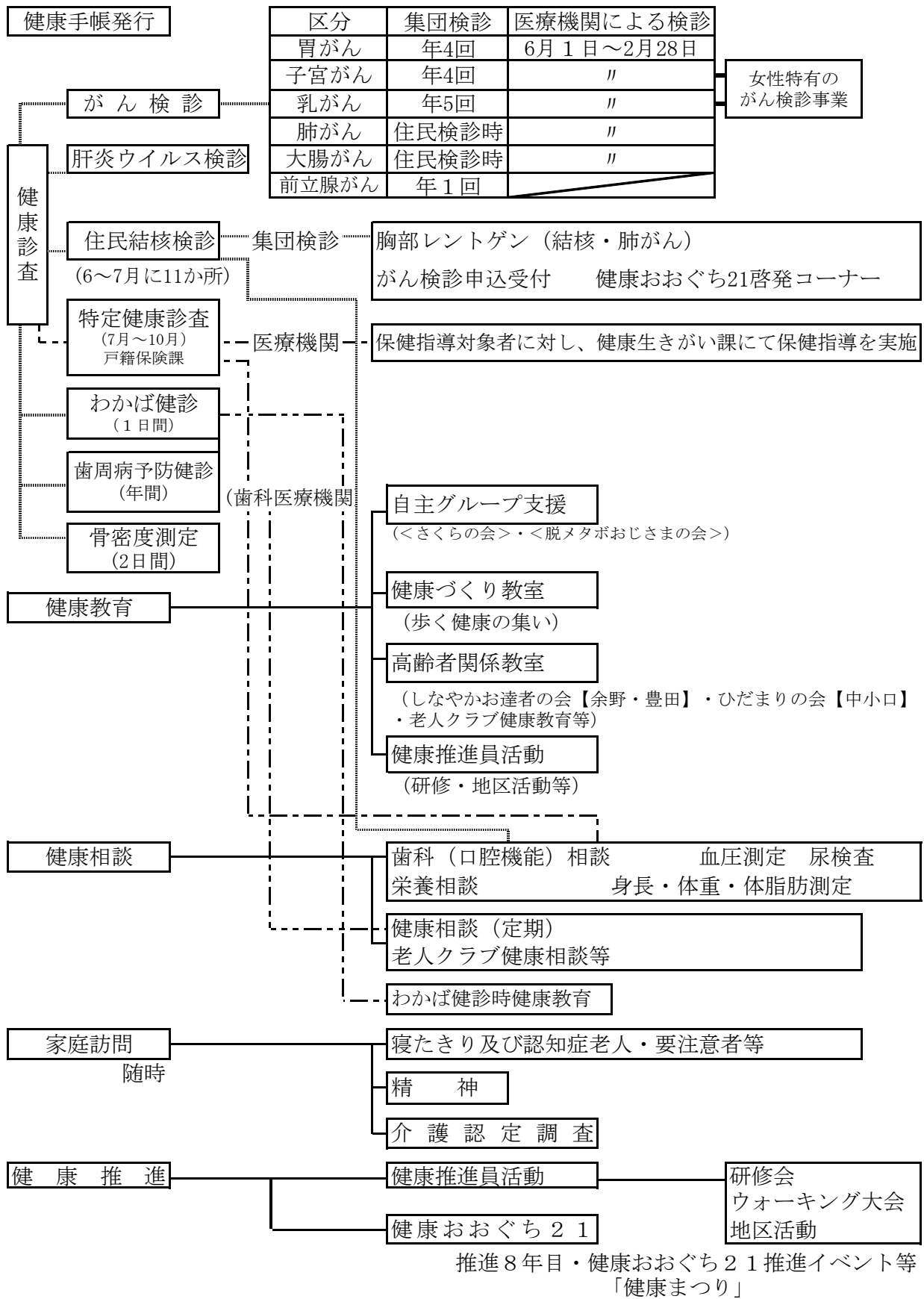
ウ 出席者

江南厚生病院 医師（小児科、産科、婦人科）、看護師（小児科、産科、婦人科、NICU）、ケースワーカー

江南保健所 保健師、市町村保健師（岩倉市、江南市、犬山市、扶桑町、大口町）

### 3 成人保健活動

# 成人保健 管理体系



## 1 成人保健の取り組み

健康増進法に基づき実施する。住民の健康意識の高揚、よりよい健康習慣の定着を図ることにより、健康増進、疾病予防、介護予防などに役立てる。

大口町は、平成5年12月に「健康の町」宣言をし、平成16年3月には大口町の健康づくり計画「健康おおぐち21」を住民と行政とともに策定し、地区住民の意識の高揚と地区活動を積極的に推進してきている。

様々な事業が「健康おおぐち21」の推進につながっていることを意識しながら機会を捉えて啓発を行った。

＜23年度の重点的な取り組み＞

### ① がん検診の受診率向上に向けた取り組み

- ・受診希望の多かった胃がん検診は受診者の定員を拡大
- ・簡易にできる大腸がん検診を各がん検診時に勧奨
- ・女性特有のがん検診事業については、未受診者への受診勧奨通知を送付するとともに、乳幼児健診時に啓発チラシを配布

### ② 介護・保険・健康の連携した取り組み

- ・介護・保険・健康の各グループが連携しデータを分析して健康寿命を延ばす取り組みの展開を開始（学共へ出向いて地区住民への啓発等）
- ・健康まつりにおいて「血管」をテーマに生理機能・運動・食事・こころの分野から血管を守るための生活習慣を啓発

## 2 健康手帳の交付

### (1) 目的

健康増進法に基づいて発行。特定健康診査・保健指導の記録、がん検診時などの検診結果や血圧測定値等の健康状態を記入し、自らの健康への意識の向上を図る。

### (2) 対象

40歳以上の住民、その他希望者

### (3) 日時

- ア 住民検診・がん検診・健康相談・特定健康診査・保健指導等の時
- イ その他随時

### (4) 交付状況

(単位：人)

区分	健康手帳	わたしの夢をかなえる健康ノート (女性)	合計
40歳未満	0	2	2
40～64歳	0	12	12
65～74歳	4	0	4
75歳以上	1	0	1
合計	5	14	19

### 3 特定健康診査・特定保健指導

#### (1) 目的

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、保険者が被保険者及び被扶養者に対し、内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病予防のための保健指導を必要とする者を抽出する健診を行い生活習慣を改善するための保健指導を行う。

健診受診者全員に対し、必要に応じ階層化された保健指導を提供することにより、生活習慣病のリスク要因の減少を図り、糖尿病等の有病者・予備群を減少させる。

#### (2) 対象

大口町国民健康保険被保険者（40～74歳）

#### (3) 実施期間及び実施場所

個別健診 7～10月 大口町・扶桑町の委託医療機関

人間ドック 5～8月 人間ドック委託医療機関

集団健診 平成24年1月21日 大口町保健センター

\*健診は戸籍保険課にて、保健指導は平成23年度から、戸籍保険課と健康生きがい課で実施

#### (4) 特定健診受診者数（23年度）

(H24.1.23現在)

受診券発行者数	3,764人
特定健康診査受診者数	1,916人

特定健康診査等受診率	50.9%
------------	-------

但し、資格喪失による除外者を含む



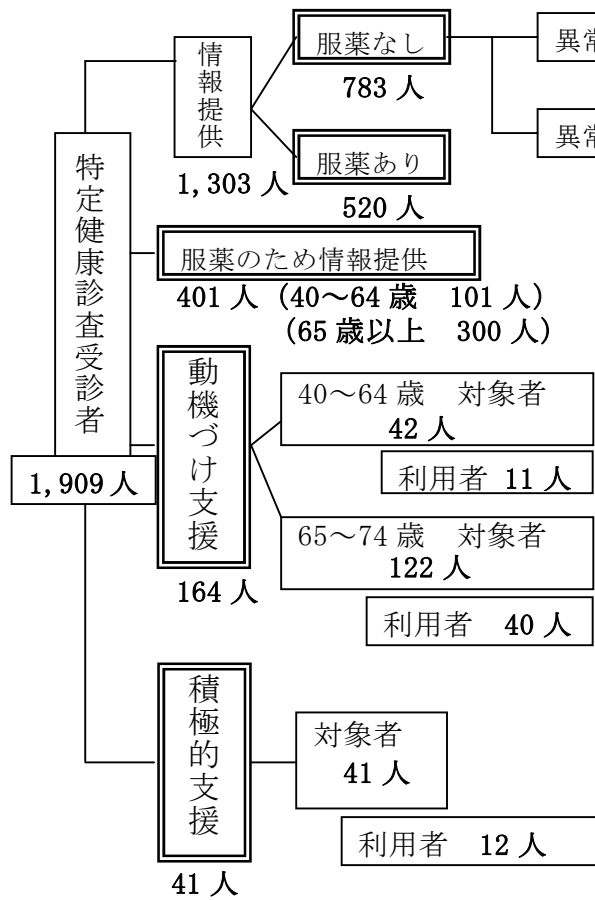
#### (5) 22年度 特定健診・特定保健指導 法定報告（23年11月報告）

資料：戸籍保険課より

(単位：%)

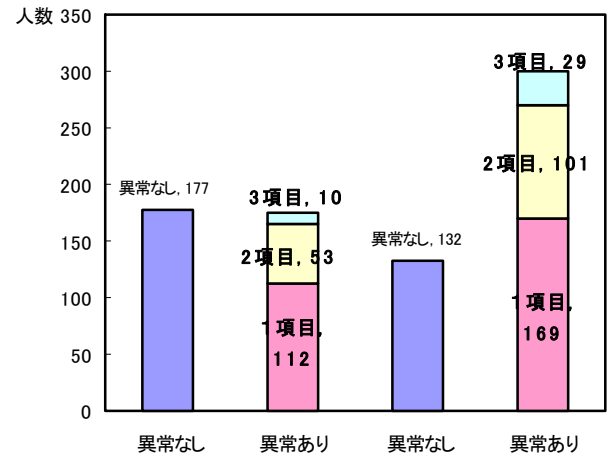
	全国	愛知県	大口町
特定健康診査 受診率	32.0	35.6	51.0
特定保健指導 終了率	—	12.2	16.7
（積極的支援） 終了率	13.2	7.7	10.8
（動機付け支援） 終了率	23.9	13.9	18.0
内臓脂肪症候群該当者の減少率	—	—	25.4
内臓脂肪症候群該当者	14.4	—	19.3
内臓脂肪症候群予備群	12.0	—	9.3
高血圧服薬治療中	31.6	34.1	33.9
脂質異常症服薬治療中	19.8	23.9	25.0
糖尿病服薬治療中	5.9	7.2	8.3

(6) 特定保健指導階層化《23年度 受診者(資格喪失による除外者を含む H24.3 現在)》



腹囲・BMI は、判定基準値内であるが、血液データ等が異常ありの人 474 人の内訳

	40~64 歳	65 歳以上
(血糖異常者)	82 人	153 人
(脂質異常者)	59 人	107 人
(血圧異常者)	107 人	186 人



	40~64 歳	65 歳以上
1 項目該当	112 人	169 人
2 項目該当	53 人	101 人
3 項目該当	10 人	29 人

(7) 特定保健指導 利用状況《23年度》(H24.3 月末現在 国保資格有り)

	対象者	利用者	利用率
動機づけ 40~64 歳	41 人	10 人	24.4%
動機づけ 65 歳以上	121 人	40 人	33.1%
積極的	38 人	13 人	34.2%
全体	200 人	63 人	31.5%

利用者	男女別
男性	女性
40 人	23 人
63.5%	36.5%

保健指導利用率  
**31.5%**

23 年度保健指導 支援状況

	初回支援 (グループ) 開始 →	個別 支援 1 か月 目	運動支援 (グループ) →	個別支援 面接 2 か月目 →	個別支援 中間評価 3 か月目	個別支援 電話 →	評価 6 か月目
22 年度 4 クール目	4 月 11 日	4 月	5 月 25 日	6 月	7 月		10 月 12 日
集団特定健診	H24. 2 月 14・ 15・16 日	—	—	—	—		H24 8 月 23 日
1 クール目	9 月 29 日	10 月	10 月 26 日	11 月	12 月		3 月 30 日
2 クール目	11 月 14 日	12 月	12 月 14 日	H24. 1 月	2 月		5 月 18 日
3 クール目	H24. 1 月 11 日	2 月	2 月 8 日	3 月	4 月		7 月 20 日

※4 クール目は平成 24 年 4 月から 10 月まで実施する

\* 江南厚生病院へ特定保健指導委託：7 月～3 月（人間ドック実施者のみ）

(8) 平成 22 年度特定健診を受診した特定保健指導実施者の状況

※終了者（男女別）

	終了者
動機づけ（40～64 歳）	5 人
動機づけ（65 歳以上）	26 人
積極的	9 人
全体	40 人

男性	女性
20 人	20 人

〔 他 はじめの一步ツアー（あいち健康プラザ）利用 6 人  
江南厚生病院利用 7 人 〕

(9) 平成 22 年度特定保健指導の効果

ア 平成 22 年度特定保健指導を受けた 40 人のうち

↓

平成 23 年度も健診を受けた人 32 人について

↓

32 人のうち、23 年度の健診結果が改善し、

- ・ 23 年度は特定保健指導の対象者でなくなった人 15 人 改善率 37.5%
- ・ 23 年度の健診結果で体重が 2 kg 以上減少した人 6 人 18.8%
- ・ 23 年度の健診結果で腹囲が 2 cm 以上減少した人 19 人 59.4%

イ 平成 22 年度特定保健指導対象者で、保健指導を受けなかった

187 人のうち

↓

23 年度も健診を受け、特定保健指導の対象者でなくなった人は、

26 人 改善率 13.9%



\* 26人の内訳は、19人が動機づけ支援 ⇒情報提供

7人が積極的支援 ⇒情報提供

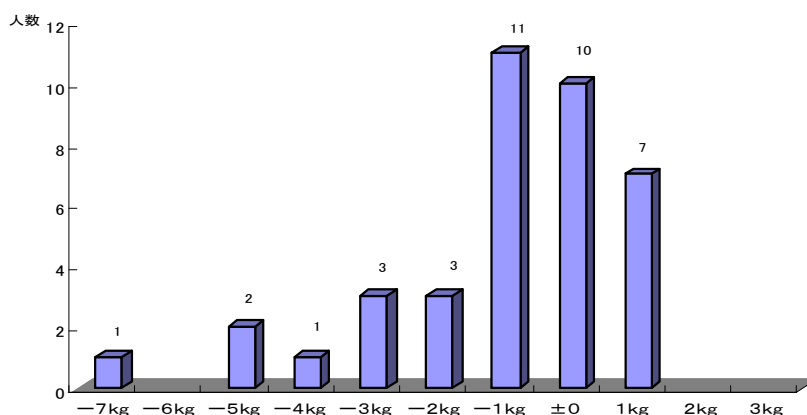
改善内容については、体重・腹囲は減少したが、コレステロール、血圧、血糖の検査結果値は上がっている人が多い

\* 特定保健指導利用により、メタボリックシンドロームのメカニズムを理解し、検査結果から自身の生活習慣に結びつけて行動した人は、体重・腹囲の変化に加え体の中からの改善効果が高くなっている

ウ 保健指導利用者40人の内、初回と最終評価の比較ができた38人の変化

	最大	最小	平均
体重の変化	-6.8kg	+1.3kg	-1.1kg
腹囲の変化	-6.0 cm	+12 cm	-1.4 cm

保健指導実施者の体重の推移



エ 自己目標の達成状況

(保健指導利用者40人の内、保健センターで指導した27人についての変化)

	達成	ほぼ達成	できていない
食生活	13人	11人	3人
運動	10人	10人	7人

〈からだの変化〉

- ・目標の減量ができ、体調もよくなった。
- ・体重減少で体が軽くなり、動くのも楽になった。
- ・膝が良くなって歩けるようになった。
- ・以前は階段で動悸がしたが、今はなくなった。
- ・人から「痩せた？」と声をかけられた。
- ・血圧が下がった。
- ・めまいがなくなった。
- ・持久力がついた。
- ・ウォーキングで体が軽くなった。

〈こころの変化〉

- ・食べる物を意識する様になった。
- ・体がすっきりしてズボンを買換えた。うれしい。
- ・これからも元気でいたいので頑張ろうと思う。
- ・今までわかっていてもやらなかった。色々な事を知れて嬉しい。
- ・講座に参加して気づきが沢山あった。
- ・体重が減ったので何をやるにも気持ちがいい。
- ・前より気分がよい。続けてチャレンジしたい。
- ・自分が元気になる、家族も喜んでいる。

## 4 各種がん検診

### (1) 目的

がんの早期発見に努め、早期治療に結びつけるとともに、がん予防についての知識の普及啓発を行い、意識の向上を図る。

### (2) 実施状況 (町内在住で、勤務先等で検診を受ける機会のない方を対象としている)

区分 項目	集 団 検 診	医 療 機 関
実施回数 実施機関 及び 実施場所	< 胃 > 年4回 (検診車) 保健センター < 子宮 > 年4回 (検診車) 保健センター < 乳 MMG > 年3回 (検診車) 保健センター < 乳超音波 > 年3回 保健センター < 大腸 > 住民検診時とがん検診時に検体採取容器を配布 < 肺 > 胸部X線 (住検時) 喀痰 (住民検診時、検体採取容器を配布) < 前立腺 > 年1回 保健センター	平成23年6月1日から、 平成24年2月29日までの町内委託医療機関の診療時間内 * (H21年度より) 乳・子宮がん検診委託医療機関を1か所から3か所に拡大
申込方法	・保健センターへ電話 ・住民検診時、検診会場で受け付け	各医療機関の窓口にて (乳がんは保健センターにて)
検診料	< 胃 > 1,000円 < 子宮 > 500円 < 乳 > 1,000円 (MMG) 700円 (超音波) < 大腸 > 300円 < 肺 > X線のみ無料、X線+喀痰300円 < 前立腺 > 300円	< 胃 > 2,000円 < 子宮 > 1,000円 < 乳 > 1,500円 < 大腸 > 500円 < 肺 > X線のみ500円 X線+喀痰 1,500円

### (3) 検診内容及び受診対象年齢

種 類	内 容	受診対象年齢
胃	胃部X線撮影	20歳以上
子宮	視診・細胞診	20歳以上
乳 (個別)	視触診・MMG (X線検査)	40歳以上
(集団)	視触診・健康教育 (自己検診法)	40歳以上 30~39歳
	MMG (X線検査) 超音波	
大腸	便潜血反応試験による2日間採便法	20歳以上
肺	胸部X線撮影・喀痰検査	20歳以上 (集団検診は40歳以上)
前立腺 (集団のみ)	血液検査 (PSA検査)	50歳以上

(4) 年度別実施状況

ア 胃がん

(単位：人・%)

	年度	対象者	受診者数				受診率	結 果				精検結果(再掲)			
			集 団	医 療 機 関	異常なし	要 観 察		要 精 検	判定不能	異常なし	が ん	が ん 以 外 の 疾 患	未 受 診 ・ 未 把 握		
40歳以上	19	4,900	421	178	243	8.6	321	35	62	3	7	0	50	5	
	20	4,713	374	191	183	7.9	281	37	56	0	13	1	32	10	
	21	4,719	419	189	230	8.9	303	57	58	1	14	0	34	10	
	22	4,725	420	199	221	8.9	321	41	58	0	15	0	41	2	
	23	4,725	453	227	226	9.6	336	61	56	0	9	0	45	2	

40歳未満	19	—	22	17	5	—	17	3	1	1	0	0	1	0
	20	—	24	14	10	—	16	5	3	0	1	0	2	0
	21	—	16	14	2	—	15	1	0	0	0	0	0	0
	22	—	18	12	6	—	15	1	2	0	1	0	1	0
	23	—	22	19	3	—	20	2	0	0	0	0	0	0

計	19	—	443	195	248	—	338	38	63	4	7	0	51	5
	20	—	398	205	193	—	297	42	59	0	14	1	34	10
	21	—	435	203	232	—	318	58	58	1	14	0	34	10
	22	—	438	211	227	—	336	42	60	0	16	0	42	2
	23	—	475	246	229	—	356	63	56	0	9	0	45	2

イ 大腸がん

(単位：人・%)

	年度	対象者	受診者数				受診率	結 果				精検結果(再掲)			
			集 団	医 療 機 関	異常なし	要 再 検		要 精 検	異常なし	が ん	が ん 以 外 の 疾 患	が ん の 疑 い	未 把 握	未 受 診	
40歳以上	19	4,900	639	259	380	13.0	584		55	17	3	31	0	4	
	20	4,713	595	264	331	12.6	547		48	14	2	26	0	6	
	21	4,719	686	289	397	14.5	641		45	12	4	20	1	8	
	22	4,725	734	308	426	15.5	694		40	16	3	18	0	3	
	23	4,725	971	434	537	20.6	901		70	21	2	35	0	12	

40歳未満	19	—	24	9	15	—	23		1	1	0	0	0	0
	20	—	21	6	15	—	20		1	1	0	0	0	0
	21	—	12	9	3	—	12		0	0	0	0	0	0
	22	—	22	15	7	—	21		1	1	0	0	0	0
	23	—	59	57	2	—	58		1	1	0	0	0	0

計	19	—	663	268	395	—	607	0	56	18	3	31	0	4
	20	—	616	270	346	—	567	0	49	15	2	26	0	6
	21	—	698	298	400	—	653	0	45	12	4	20	1	8
	22	—	756	323	433	—	715	0	41	17	3	18	0	3
	23	—	1030	491	539	—	959	0	71	22	2	35	0	12

ウ 子宮がん検診

(単位：人・%)

	年 度	対 象 者	受診者数			受 診 率	結 果			精検結果 (再掲)					
			集 団	医 療 機 関			異 常 な し	そ の 他 の 疾 患	要 精 検	異 常 な し	異 形 成	が ん	が ん 以 外 の 疾 患	保 留	未 把 握
20歳 以上	19	3,710	322	269	53	8.7	280	40	2	2	-	0	0	-	0
	20	4,314	358	298	60	8.3	271	87	0	0	-	0	0	-	0
	21	4,304	587	276	311	13.6	517	67	3	0	-	0	3	-	0
	22	4,301	668	313	355	15.5	541	116	12	2	6	0	0	2	2
	23	4,301	855	316	539	19.9	756	74	25	11	10	0	0	1	3

\*23年度から妊婦健診時の子宮がん検診を含む。(20歳未満の妊婦2名含む)

エ 乳がん検診

(単位：人・%)

	年 度	対 象 者	受診者数			受 診 率	結 果			精検結果 (再掲)			
			集 団	医 療 機 関			異 常 な し	要 観 察	要 精 検	異 常 な し	が ん	が ん 以 外 の 疾 患	未 把 握
40歳 以上	19	3,125	269	215	54	8.6	242	1	26	11	4	10	1
	20	3,125	274	231	43	8.8	240	0	34	18	0	12	4
	21	3,115	506	243	263	16.2	451	0	55	21	0	19	15
	22	3,112	511	245	264	16.4	448	0	61	29	1	17	14
	23	3,112	542	266	276	17.4	484	0	58	26	2	13	17

40歳未 満	19	—	78	78	0	—	71	4	3	2	0	1	0
30歳~39 歳	20	—	71	71	0	—	60	1	5	0	0	3	2
	21	—	82	82	0	—	67	3	10	5	0	5	0
	22	759	68	68	0	—	49	12	7	1	0	3	3
	23	759	80	80	0	—	61	11	8	6	0	2	0

※(その他の疾患：H20年5名 H21年2名 H22年1名 H23年3名)

	19	—	347	293	54	—	313	5	29	13	4	11	1
	20	—	345	302	43	—	300	1	39	18	0	15	6
	21	—	588	325	263	—	518	3	65	26	0	24	15
	22	—	579	313	264	—	497	12	68	30	1	20	17
	23	—	622	346	276	—	545	11	66	32	2	15	17

オ 乳がん・子宮がん検診 クーポン利用者再掲

	年 度	対 象 者	受診者数			受 診 率
			集 団	機 関 医 療		
乳がん	21	742	180	47	133	24.3
	22	748	255	66	189	34.1
	23	707	232	74	158	32.8

	年 度	対 象 者	受診者数			受 診 率
			集 団	機 関 医 療		
子宮がん	21	831	174	22	152	20.9
	22	693	210	33	177	30.3
	23	724	217	41	176	30.0

カ 肺がん検診

(単位：人・%)

	年度	対象者	受診者数						受診率	結 果			果 (再掲)					
			集 団			医 療 機 関				精 検 不 要	要 精 検		異 常 な し	が ん ( 悪 性 )	が ん の 疑 い	が ん 以 外 の 疾 患	経 過 観 察	未 受 診 ・ 未 把 握
			X線及び喀痰	X線のみ	X線及び喀痰	X線のみ	肺がん以外の疾患											
							肺がんの疑い	肺がんの疑い										
40歳以上	19	4,900	881	16	492	45	328	18.0	853	14	14	9	0	0	3	-	2	
	20	4,713	804	27	459	27	291	17.1	761	36	7	3	0	0	1	-	3	
	21	4,719	957	34	536	19	368	20.3	937	14	13	6	1	0	5	-	1	
	22	4,725	937	17	515	36	369	19.8	913	16	8	6	1	0	6	5	6	
	23	4,725	1,061	17	528	41	475	22.5	1,039	6	16	5	3	0	2	2	4	
40歳未満	19	—	12	0	0	1	11	—	12	0	0	0	0	0	0	-	0	
	20	—	10	0	0	1	9	—	9	0	1	0	0	0	1	-	0	
	21	—	8	0	0	2	6	—	8	0	0	0	0	0	0	-	0	
	22	—	8	0	0	0	8	—	8	0	0	0	0	0	0	0	0	
	23	—	7	0	0	0	7	—	7	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	19	—	893	16	492	46	339	—	865	14	14	9	0	0	3	-	2	
	20	—	814	27	459	28	300	—	770	36	8	3	0	0	2	-	3	
	21	—	965	34	536	21	374	—	945	14	13	6	1	0	5	-	1	
	22	—	945	17	515	36	377	—	921	16	8	6	1	0	6	5	6	
	23	—	1,068	17	528	41	482	—	1,046	6	16	5	3	0	2	2	4	

キ 前立腺がん検診

(単位：人・%)

年度	対象者	受診者(集団)	受診率	結 果			精 検 結 果 ( 再 掲 )					
				異常なし	要再検	要精検	異常なし	が ん	が ん の 疑 い	前立腺肥大	その他	未把握
20	1,507	82	5.4	75	0	7	1	4	0	0	2	0
21	1,523	80	5.3	72	0	8	4	1	0	1	1	1
22	1,532	152	9.9	143	0	9	3	2	1	0	3	0
23	1,532	130	8.5	120	0	10	2	1	0	3	1	3

※がん予防効果を高めるために、要精検者のうち受診結果が返送されない方について  
受診2か月後に医療機関に受診状況を確認。未受診者の方には、受診勧奨を行った。

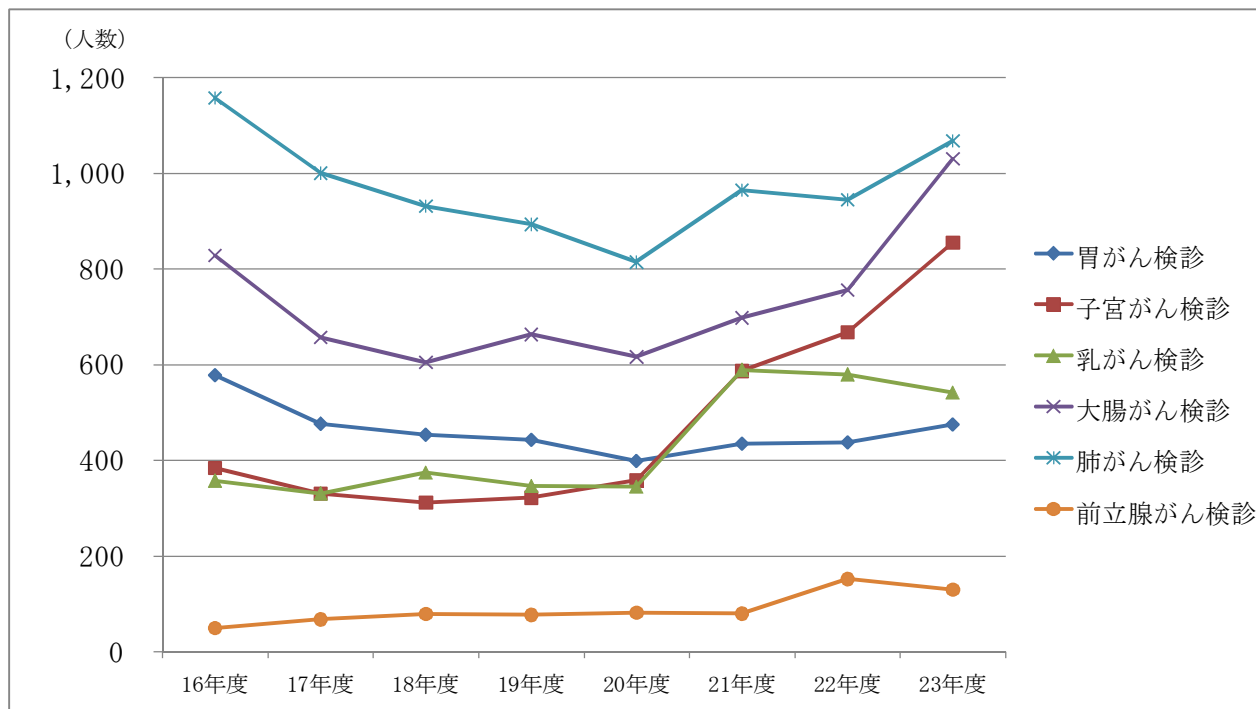
※各検診の受診者中の要精検率と、精検者のうちの精検受診率

	要精検率	精検受診率
胃がん検診	11.8%	96.4%
大腸がん検診	6.9%	83.1%
子宮がん検診	2.9%	88.0%
乳がん検診	10.6%	74.2%
肺がん検診	2.1%	77.3%
前立腺がん検診	7.7%	70.0%

がん検診受診者数の推移

(単位：人)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
胃がん検診	578	476	453	443	398	435	438	475
子宮がん検診	384	331	312	322	358	587	668	855
乳がん検診	357	330	375	347	345	588	579	542
大腸がん検診	828	657	605	663	616	698	756	1,030
肺がん検診	1,157	1,000	931	893	814	965	945	1,068
前立腺がん検診	50	68	79	77	82	80	152	130
合計	3,354	2,862	2,755	2,745	2,613	3,353	3,538	4,100



- 【16年度】 乳がん検診を集団にてMMG開始（自己負担徴収） 前立腺がん検診開始
- 【17年度】 各種がん検診自己負担徴収 医療機関での乳がん検診（MMG）開始
- 【18年度】 住民結核検診対象者が40歳以上になる
- 【19年度】 乳がん検診を集団にて、30～39歳超音波・視触診を開始  
(乳がん検診医療機関での視触診のみを廃止)
- 【20年度】 特定健診開始
- 【21年度】 女性特有のがん検診事業開始（H22.9月～23.3月末）  
女性のがん検診（子宮がん・乳がん検診）の委託医療機関を拡大（犬山中央病院 江南厚生病院を加える）  
国保人間ドックのオプションとして町の女性のがん検診を組み入れる
- 【22年度】 女性特有のがん検診事業（H22.5月～23.3月末） \*対象者は先行予約受付をする  
成人の日にごん検診啓発チラシを同封  
健康まつりにてがんの啓発  
女性特有のがん検診未受診者通知（1月）
- 【23年度】 集団大腸がん検診の申し込みを胃がん・子宮がん・乳がん検診時に実施（年9回）  
健康推進員活動にごんの予防・啓発を実施  
妊婦健診の子宮がん検診をごん検診として計上

## 5 住民（結核）検診

### (1) 目的

感染症法に基づき、定期的に結核健康診断を実施することにより、結核の早期発見・早期治療につなげることを目的とする。

また、疾病予防・健康づくりに関する知識の普及・啓発を行う。

### (2) 対象

40歳以上で、会社・学校等に勤務していない方

### (3) 日時

6月28・29・30日 7月1日

### (4) 内容

胸部レントゲン検査（間接撮影）（肺がん検診を兼ねる）、健康おおぐち21啓発  
\*各地区健康推進員・健康クラブ「笑顔21」のメンバーの協力のもと実施

### (5) 実施状況

ア 年度別年齢別受診者状況

（単位：人）

年度 \ 年齢	受診者数	40～49	50～59	60～69	70以上
19	508	26	56	218	208
20	486	40	49	229	168
21	570	35	55	270	210
22	532	34	37	232	229
23	545	41	36	236	232

イ 胸部レントゲン検査結果（異常所見ありの内訳）

結果	人数
要観察者	31人
要精検者	8人 精密検査結果 異常なし2人 経過観察1人 サルコイドーシス1人 肺がん3人 左乳腺石灰化1人

ウ 健康おおぐち21啓発コーナー

- ・がん検診を受けよう（がん検診申込み受付）
- ・健康手帳の発行
- ・歯のアンケート（さつきヶ丘のみ）
- ・骨密度申し込み
- ・姿勢のゆがみチェック
- （閉眼足踏み30歩）
- ・お口の体操
- ・歯周病予防検診申し込み
- ・野菜を食べよう
- ・姿勢のゆがみに合わせた体操

## 6 わかば健康診査

### (1) 目的

20・30歳代の若い年代で健診を受ける機会のない方を対象とし、生活習慣病の早期発見および生活習慣の改善に向けた指導を行い、予防意識の向上を図る。健康相談を通して日常生活を見直し、健康の保持増進を図る。

### (2) 対象

町内在住の20・30歳代の住民で健診を受ける機会のない方

### (3) 日時

平成24年1月21日（土） 午前9時～11時30分

### (4) 健診方法及び内容

健康教育（メタボリックシンドローム・食品中の油脂について）

身長・体重・腹囲測定、血圧測定、尿検査、血液検査

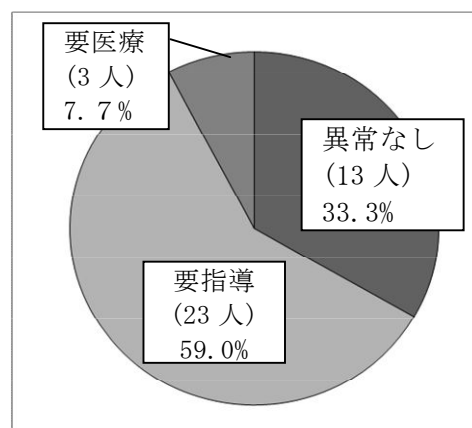
### (5) 従事者 保健師 管理栄養士 事務員 委託機関

### (6) 実施結果

#### ア 年齢別受診者数

(単位：人) イ 総合判定

	男		女		合計
	20歳代	30歳代	20歳代	30歳代	
19	3	7	17	87	114
20	1	2	9	97	109
21	1	4	19	88	112
22	1	3	16	79	99
23	0	2	6	31	39



#### ウ 要指導・要医療の疾病分類（延べ数）

(単位：人)

	正常高値血圧	高血圧	脂質異常	貧血	肝障害	血糖	尿糖	尿蛋白	尿潜血	肥満	やせ	理学的所見	腹囲
19	6	3	37	12	5	7	2	0	4	8	24	4	8
20	4	2	37	19	8	4	1	0	1	8	32	1	2
21	5	4	25	32	6	27	0	3	9	3	27	0	4
22	7	0	26	22	8	22	1	1	3	5	17	10	2
23	1	0	9	1	1	15	0	2	0	1	6	1	2

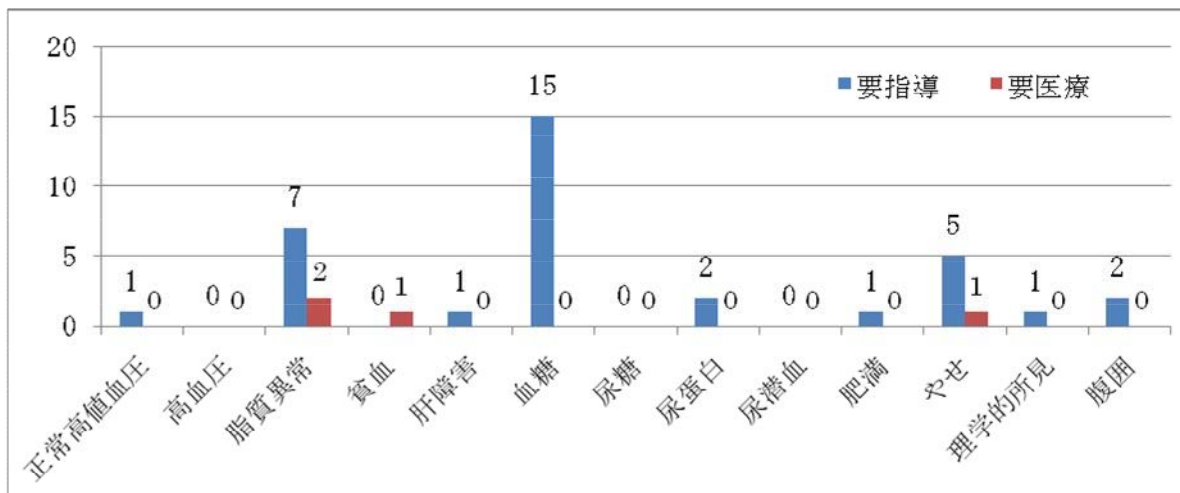
※貧血検査は、23年度はハイリスク者12人にのみ実施した。

※その他として、BUN低値1人。

※理学的所見として結膜貧血1人。



エ 平成23年度 疾患別 要指導・要医療判定分類（延べ人数）



保育園にチラシを掲示したり35歳～39歳の国保の方を対象に個別通知による勧奨を行った。血圧・血糖・脂質の保健指導対象値の方に、結果説明会を案内。

説明会時には1名のみ参加であり、個別相談を行った。

## 7 肝炎ウイルス検診

### (1) 目的

健康増進法に基づき、肝炎対策の推進の観点から、住民が自身の肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて保健指導等を受け、医療機関に受診することにより、肝炎による健康障害を回避し、症状を軽減し、進行を遅延させることを目的とする。

### (2) 対象

満40歳の者（年度末年齢）

満41歳以上で過去に当該肝炎ウイルス検診に相当する検診を受けたことがなく、検診を希望する者

### (3) 実施場所 大口町・扶桑町の委託医療機関

### (4) 日時 平成23年7月1日～10月31日

### (5) 内容 問診、C型肝炎ウイルス検査、HBs抗原検査

### (6) 実施状況

項目 区分	受診者	B型肝炎ウイルス		C型肝炎ウイルス	
		陰性	陽性	現在、C型肝炎ウイルス(HCV)に感染していない可能性が極めて高い	現在、C型肝炎ウイルス(HCV)に感染している可能性が極めて高い
40歳	47	47	0	46	1
その他の年齢	9	9	0	9	0
計	56	56	0	56	0

## 8 骨密度測定

### (1) 目的

骨粗鬆症は寝たきりの原因となる骨折の基礎疾患となるため、早期に骨量の減少者を発見し、骨粗鬆症予防の動機づけを行なう。また、「健康おおぐち21（生活習慣病予防分野）」の推進の一つとして、節目となる年齢を機会に自分の骨密度を知ることによって健康意識の高揚を促し、骨量を増やす生活習慣を実践へと結びつける。

### (2) 対象

町内在住の節目年齢の女性※及び一般住民(定員各日95人)

※「節目年齢」とは、平成24年3月31日をもって40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳の女性を意味し、以下「節目者」とする。

### (3) 周知方法

①節目者のうち国民健康保険加入者に、特定健診郵送時にチラシを同封

②広報おおぐち、広報無線、各事業時にチラシによる啓発

### (4) 日時

平成23年7月11日（月）・平成23年10月24日（月） 午前9時30分～午後3時30分

### (5) 方法

超音波法による かかと部の骨密度測定。

### (6) 従事者

保健師 管理栄養士 事務員 委託機関（医師・検査技師）

### (7) 実施結果

ア 受診者の内訳（単位：人）

性別	節目	一般	合計
女	44	127	171
男	—	11	11
合計	44	138	182

イ 受診結果（単位 人）

	受診者	異常なし	要観察	要指導	要精検
39歳以下	14	5	6	3	0
40歳代	26	13	6	7	0
50歳代	27	12	2	11	2
60歳代	76	23	0	36	17
70歳以上	39	16	0	15	8
合計	182	69	14	72	27

骨密度は女性ホルモンエストロゲンに左右され、更年期以降の異常は増えている。妊娠出産の影響は証明されていないが、遺伝要素もあるといわれる。39歳以下でも、骨密度の低い方の割合が高い。チラシを用いて機会をとらえた啓発をしていく。

## 9 健康教育

健康教育は、住民の健康意識の高揚、より良い生活習慣の定義を図ることにより、健康増進・疾病予防・寝たきり予防などに役立てることを目的としている。

健康おおぐち 21 計画の推進をベースに、中間評価に基づき、健康づくりをしやすいまちづくりを目指すとともに健康おおぐち 21 計画の目標に沿った具体的な取り組みを推進した。

生活習慣病予防については健康推進員地区活動時や各団体からの要請時のテーマとして取り上げ、血圧・脂質・歯周病等についてさまざまな場で周知・啓発を行い、生活習慣の見直し・改善の機会となるよう事業展開を行った。また、高齢者については、お口の健康についての啓発を中心に行った。

### (1) 歩く健康のつどい

#### ア 目的

手軽にできる運動として『歩くこと』を通して、健康の保持増進・生活習慣病予防に努める。

#### イ 対象 一般住民

#### ウ 従事者 保健師（健康チェック・準備体操時のみ）

#### エ 日時・内容

月 2 回（第 2・4 火曜日）午前 9 時 30 分～11 時

健康チェック（血圧測定・検尿（第 2 火曜日）

健康おおぐち 21 元気体操 ウォーキング（主に五条川沿い）

#### オ 参加状況（単位：回・人）

年度	実施回数	実人数	参加延人数	1 回平均参加者数
20	21	36	275	13.1
21	23	34	323	14.4
22	23	33	272	11.8
23	24	49	369	15.4

#### カ 健康チェック

健康チェック実施者 321人

血圧測定者 288人、尿検査実施者 150人

## (2) 要請による健康教育

(単位：人)

事業名 (依頼団体)	実施月日	実施内容	参加人数
さくら大学	5月6日	夏に向けての健康づくり	37
大屋敷区 高齢者ふれあいの会	5月8日	介護予防について	61
下小口敬老会 健康推進員	5月8日	血管を守ろう～ピンコロで長生き～	146
外坪老人クラブ	5月18日	唾液マッサージ 野菜と塩分の話	60
余野ちとせ会	10月13日	おいしく食べられる健康講話	33
外坪老人クラブ・出前講座	1月20日	認知症と歯	52
堀尾跡老人クラブ	2月20日	お口と健康	38
御供所老人クラブ	3月19日	ポールウォーキング	35
トレーニングセンター 食育G会	5月27日	栄養実習「脂質（脂）の話」	11
	8月26日	栄養実習「血管を守ろう！野菜と塩分の話」	13
	11月25日	栄養実習「冬のおかずと塩分の話」	17
脱メタボおじさまの会	7月25日	栄養実習～食生活編～※さくらの会合同 「両手1杯の野菜を食べよう」	12
	1月30日	栄養実習 「塩分のとり過ぎに気をつけよう」	11
	2月14日	ポールウォーキング体験	8
脱メタボさくらの会	偶数月 第1火曜日	「メタボ脱出に向けて」 毎回の計測・元気体操	36
げんき会（さつきヶ丘）	年4回	介護予防の講話 血圧測定	95
健康クラブ笑顔21 各部会	随時	健康おおぐち21推進	55
高齢者教室「さくら大学」	毎月1回	教室開始前の元気体操 随時、健診等の啓発	367
元気体操	随時	元気体操の指導 (桜まつり・南小・町民体育祭)	550
生活習慣病予防教室 (メタボ知っ得！応援講座)	随時	健診後 結果説明（服薬中の方） 生活習慣の振り返り	4

## (3) 健康教育のまとめ

(単位：回・人)

区分 事業	事業名	対象	開催 回数	参加延人員
年間 計画 による 事業	健康推進員研修会	健康推進員	6	220
	ウォーキング大会	一般住民	1	394
	わかば健診時健康教育	20歳から39歳	1	39
	歩く健康のつどい	一般住民	23	272
	健康まつり	一般住民	1	
	PPK 血管を守ろう	一般住民	13	572
	健康講演会	一般住民	1	421
	生活習慣病予防教室 (メタボ知っ得！応援講座)	特定健診対象外の方	4	4
		合 計		50
要 請 に よ る 事 業	高齢者教室「さくら大学」元気体操	高齢者	12	367
	高齢者教室「さくら大学」講演		1	37
	元気体操普及時健康教育	一般住民	3	550
	トレーニングセンター食育推進	トレーニングセンター利用者	3	41
	脱メタボおじさまの会	脱メタボおじさまの会員	3	31
	脱メタボさくらの会	脱メタボさくらの会員	6	36
	健康推進員活動(各地区)	地区住民	11	342
	老人クラブ(各地区)	老人クラブ員	5	218
	下小口区敬老会	下小口区 高齢者	1	146
	大屋敷区高齢者ふれあいの会	大屋敷区高齢者	1	61
	元気会(さつきヶ丘区)	元気会員	4	95
	健康クラブ笑顔21 各部会	健康クラブ笑顔21	11	55
	合 計		61	1,575
健 康 教 育 合 計			11 1	4,493

## 10 健康相談

健康相談事業は、住民が抱えている健康問題に対して、生活習慣改善を中心に実施している。定例の健康相談（毎週金曜日）に加えて、随時電話相談や健康相談、また健康教育時に相談を行い、より住民の健康的な生活を支援できるよう努めている。

### (1) 健康相談

#### ア 目的

健康相談（電話・面接）を通して日常生活の不安を取り除いたり、見直すことで、健康の保持増進につなげる。

#### イ 対象

一般住民

#### ウ 従事者

保健師 看護師 管理栄養士 歯科衛生士

#### エ 実施状況

(ア) 電話相談 347 件

(イ) 面接相談 182 件

主な内訳	件数
幼児・乳児	164 件
予防接種	143 件
栄養	3 件
精神	6 件

主な内訳	件数
生活習慣病	17 件
その他の疾患	23 件
母子関係	78 件
栄養	58 件
予防接種	24 件

#### (ウ) 金曜日健康相談

実施回数 38 回 42 件（血圧測定 5 件・栄養相談 14 件）

### (2) 健康教育時健康相談

教室名	実施回数	延べ人数
歩く健康の集い	24 回	288 人
ひだまりの会（中小口）ボランティアを含む	20 回	95 人
しなやかお達者の会（余野）	22 回	94 人
しなやかお達者の会（豊田）ボランティアを含む	22 回	130 人
脱メタボさくらの会	6 回	37 人
元気会（さつきヶ丘）	4 回	91 人
合計	98 回	735 人

## 11 介護予防事業

要介護の発生の予防または要介護状態になるのを遅らせるために効果のある教室を実施する。

### (1) 地域での介護予防

ひだまりの会（中小口）・しなやかお達者の会（余野・豊田）

#### ア 目的

教室に参加することにより、筋力低下や転倒を防ぎ、身体機能全般の維持・向上を図る。また、仲間同士の交流等により心身の活性化を図る。

介護予防地域支援事業の一般高齢者施策として実施。

#### イ 対象者

高齢者

#### ウ 日時及び場所

毎月 第2・4金曜日 午前9時30分～12時 中小口地区コミュニティーセンター

毎月 第2・4火曜日 午前9時30分～12時 余野区学習等共同利用施設

毎月 第1・3火曜日 午前9時30分～12時 豊田地区学習等共同利用施設

#### エ 従事者

余野：健康運動指導士(年2回)・保健師

中小口：健康運動指導士(年2回)・保健師・ボランティア

豊田：健康運動指導士(年2回)・看護師・ボランティア

\*豊田はハートフル大口・看護師に委託

#### オ 実施状況

地区	回数	参加実人数		参加延人数		平均参加者数	
		対象者 (再掲 新規参加者)	ボラン ティア	対象者	ボラン ティア	対象者	ボラン ティア
余野	24回	23人(5人)	2人	323人	45人	13.5人	1.9人
豊田	24回	13人(1人)	3人	158人	55人	6.6人	2.3人
中小口	22回	14人(2人)	5人	95人	98人	4.3人	4.5人

余野：筋トレ中心にレクリエーションも加え実施。新規参加者も増加している。

豊田：平成20年から健康推進員活動の一環として推進員が参加している。

中小口：一年間の計画を立て、ボランティア中心に実施している。七夕飾りやしめ縄作り、ちぎり絵の共同作品の制作にも取り組んだ。

## 4 齒科保健活動

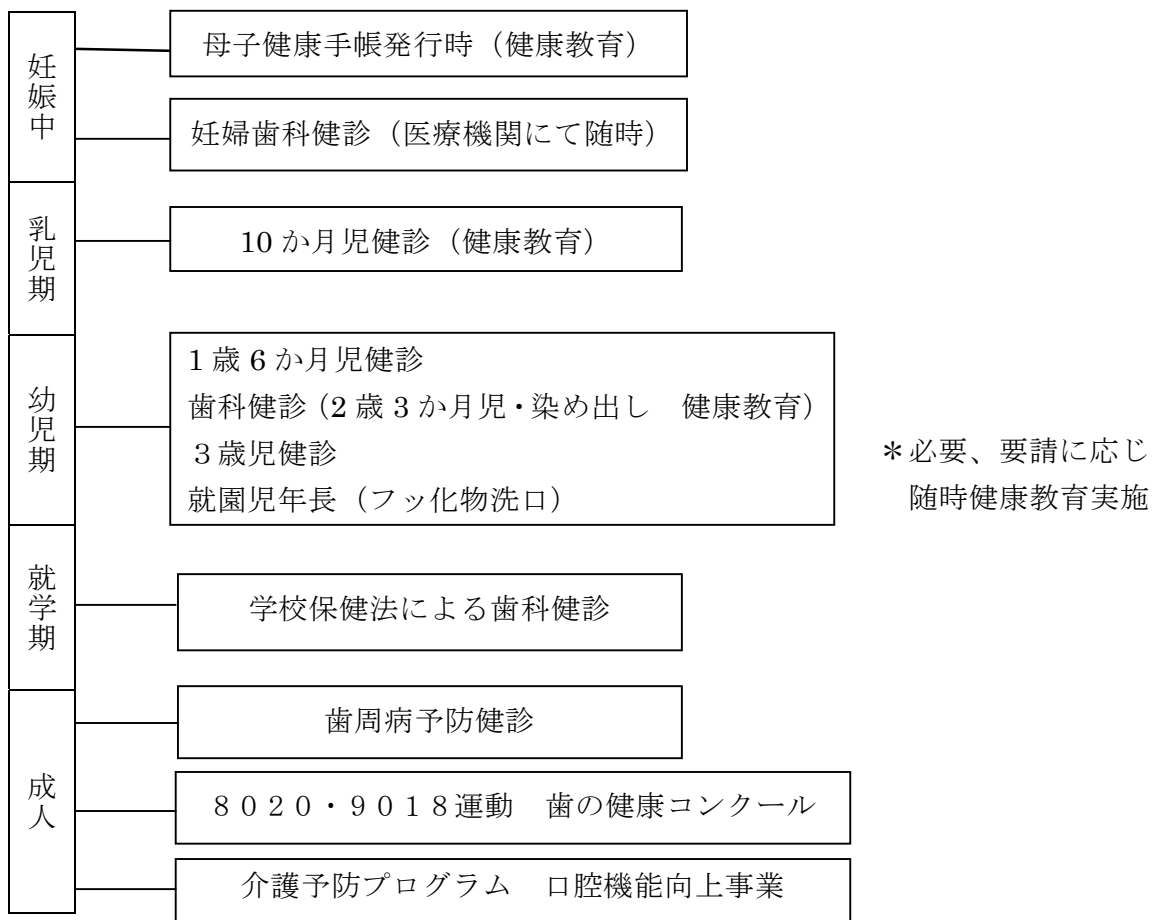


# 1 歯科保健事業の取り組み

食事を十分に咀嚼し、健康で豊かな生活を維持するには、妊娠期からの歯科保健への取り組みが重要である。

健康おおぐち 21 の歯の目標である「いつまでも自分の歯で食べよう」「いつまでも明るく歯を出して笑おう」に向け、健康と歯のつながりを意識した取り組みを継続していき、高齢者への健康教育を充実させ、一般住民の方と一緒に歯周病予防と介護予防の啓発をしていく。

## 歯科保健管理体系



歯の健康センター （春秋の 2 回実施） 対象：幼児～小 3 まで 成人 内容：歯科健診 フッ素塗布 歯科一般相談 歯科健康教室
---

## 2 幼児期歯科健康診査

### (1) 目的

歯牙が形成される乳幼児期に、歯の大切さと正しい衛生習慣を身につけるとともに、歯科健診・フッ素塗布を行い、虫歯予防に努める。

### (2) 内容

健康教育（ブラッシング法、生活リズムを整えて虫歯予防を）・歯科健診  
 染め出し（歯科健診時）・フッ素塗布・個別指導

### (3) 結果

#### ア 1歳6か月児健診時歯科健診

(単位：人・％・本)

種別 年度	対象者	受診 児数	受診結果					虫歯罹患状況			フッ素 塗 布 者 数	その他の要指導	
			O1	O2	A	B	C	虫歯有病 者数(率)	虫歯本数			歯 列 咬 合	そ の 他
									総数	一人 あたり			
19	252	248	84	161	2	0	1	3(1.2)	12	0.05	246	23	52
20	261	257	74	172	11	0	0	11(4.3)	27	0.11	254	18	11
21	246	241	74	164	2	1	0	3(1.2)	14	0.06	237	28	53
22	244	238	81	153	3	1	1	5(2.1)	12	0.05	231	17	59
23	208	203	68	131	4	0	0	4(1.9)	8	0.03	198	17	63

#### イ 歯科健診

(単位：人・％・本)

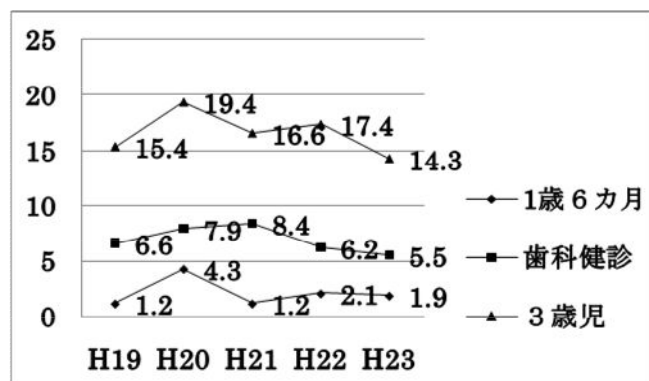
種別 年度	対象者 数	受診 児数	受診結果					虫歯罹患状況			フッ素 塗 布 者 数	その他の要指導			
			O1	O2	A	B	C	虫歯有病 者数(率)	虫歯本数			指 し ぶ り	歯 列 咬 合	そ の 他	
									総数	一人 あたり					処 置 指 数
19	221	197	37	147	8	5	0	13( 6.6)	44	0.2	6	194	7	16	44
20	253	229	29	182	16	1	1	18( 7.9)	47	0.2	0	226	12	32	43
21	253	238	31	187	18	2	0	20( 8.4)	48	0.2	2	233	8	28	38
22	248	226	43	168	13	0	1	14( 6.2)	31	0.1	1	222	10	21	54
23	219	199	57	131	8	2	1	11( 5.5)	25	0.1	14	195	32	32	40

#### ウ 3歳児健診時歯科健診

(単位：人・％・本)

種別 年度	対象者	受診 児数	受診結果					虫歯罹患状況			フッ素 塗 布 者 数	その他の要指導			
			O	A	B	C1	C2	虫歯有病者 数(率)	虫歯本数			処 置 歯 数	指 し や ぶり	歯 列 咬 合	そ の 他
									総 数	一人 あ た り					
19	245	234	198	24	11	1	0	36(15.4)	123	0.5	4	232	8	41	36
20	229	216	174	30	10	0	2	42(19.4)	137	0.6	2	211	4	24	47
21	265	260	217	27	11	0	5	43(16.6)	151	0.6	13	250	16	37	55
22	232	218	180	31	2	0	0	38(17.4)	104	0.5	2	211	8	25	50
23	248	251	215	27	7	1	1	36( 14.3)	100	0.4	12	240	33	38	13

エ 健診別虫歯保有率の推移 (%)



<う蝕罹患型>

- O1 : う歯がなく、かつ口の中の状態がよいもの
- O2 : 今う蝕はないが、将来う蝕になりそうなもの
- A : 上顎前歯部のみ、または臼歯部にう蝕のあるもの
- B : 上顎前歯部及び臼歯部にう蝕のあるもの
- C1 : 下顎前歯部のみにう蝕のあるもの
- C2 : 下顎前歯部を含み、他部位にう蝕のあるもの

### 3 フッ化物洗口説明会

(1) 目的

永久歯が生え始める時期である年長児対象に、集団の場で取り組むことができる。虫歯予防としてフッ化物洗口を実施する意義を伝え、保育園と親と子で永久歯の虫歯予防に努められるよう健康教育の場とする。

(2) 内容

実施期間	平成 24 年 1 月～2 月
実施場所	町内保育園(南、西、中、北)
対象者・参加者	年中児の保護者 108 名(南 28 名 西 40 名 中 32 名 北 8 名)
内容	フッ化物洗口説明 フッ化物洗口見学・体験 講話 年中児への歯磨き指導(エプロンシアター、染めだしブラッシング)
従事者	園長・歯科医師・歯科衛生士

### 4 歯の健康センター

(1) 目的 歯科保健に対する意識の向上と低年齢児のう蝕の予防、ならびに成人のう蝕・歯槽膿漏による歯の喪失の予防に努める。

(2) 日時 平成 23 年 6 月 5 日(日) 午前 9 時 30 分～11 時 30 分  
平成 23 年 11 月 6 日(日) 午前 9 時 30 分～11 時 30 分

(3) 内容 歯科健診 フッ素塗布 一般歯科相談 歯科健康教育

(4) 受診状況 (単位：人)

実施年度	実施回数	受診者総数	受診者内訳	
			幼児	成人
21	2	278	227	51
22	2	259	210	49
23	2	279	236	43

\* 幼児(就学前まで)を対象としていたが、平成 23 年 11 月から小学 3 年生までとした。

## 5 妊婦歯科健康診査

### (1) 目的

妊娠中は生活の変化やホルモンの影響などで虫歯になりやすく歯肉炎や口内炎もおきやすいため、妊婦の歯肉炎や虫歯の予防と早期発見に努める。

乳歯の質を決めるこの時期に歯科健診を受け、歯科保健について学習する機会をもうけ、生まれてくる子どもの虫歯予防の啓発とする。

### (2) 受診者の状況

#### ア 受診者数

(単位：人)

年 度	19	20	21	22	23
初産婦	40	48	45	48	42
経産婦	46	42	30	44	42
計	86	90	75	92	84

#### イ 健診結果

(単位：人・本)

区分 年度	受診 者数	う歯の ある者	歯周疾患の ある者	平均 処置歯数	平均 現在歯数	平均 健全歯数
23	84	46	76	9.3	28.4	17.7

#### ウ 歯周コード (単位：人)

0	1	2	3以上
8	13	42	21

#### エ 判定結果

(単位：人)

異常なし	要指導	要精検
6	19	59

## 6 歯周病予防健診

- (1) 目的 成人歯科保健に対する意識を高め、歯周疾患の早期発見と予防に努める。歯の健康に関して学び、正しいブラッシングの方法を身につける。
- (2) 対象 平成24年3月31日までに満40・45・50・55・60・65・70・75歳の節目になる者
- (3) 実施機関・場所 平成23年4月1日～平成24年3月31日 町内歯科医療機関
- (4) 実施内容 口腔内及びその周辺診査・保健指導
- (5) 受診者状況

(単位：回・人)

区分 年度	受診者数			年齢別			
	総数	男	女	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
21	20	3	17	2	3	9	6
22	15	3	12	3	4	6	2
23	61	13	48	30	22	7	2

\*23年度は40～60歳までの対象者に個別通知

### (6) 診査結果

#### ア 歯牙・歯周診査結果

(単位：人・本)

受診者数	未処置の う歯のある者	歯周疾患の ある者	平均 処置歯本数	欠損補綴歯本数 (処置歯の再掲)	平均健全歯 数
61	24	27	9.9	35	10.7

\*欠損補綴歯…失われた歯を人工歯で補ったもの

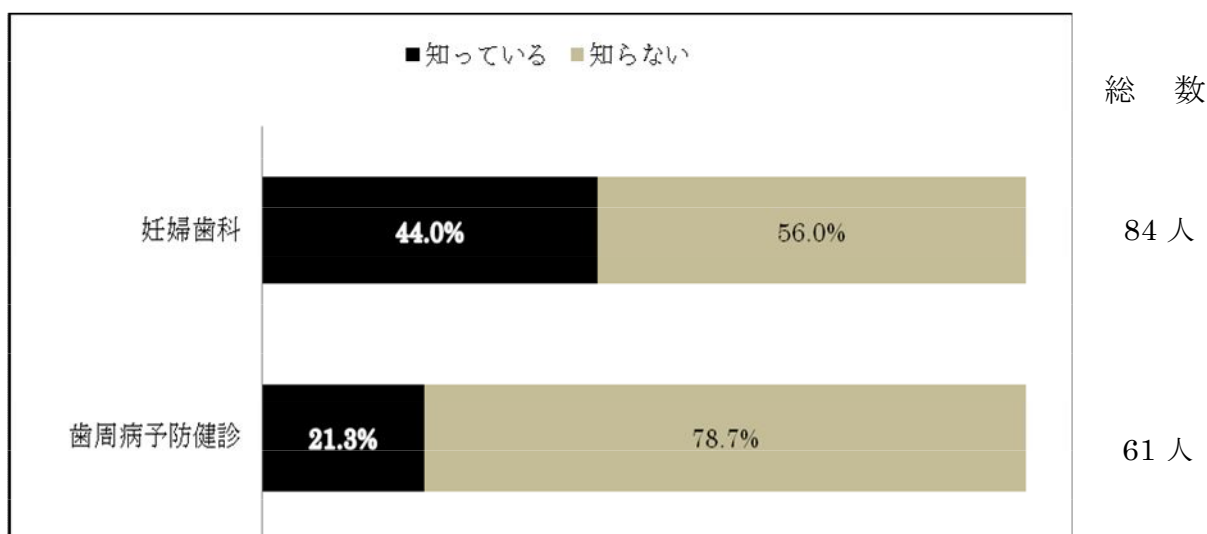
#### イ 総合判定

(単位：人)

相談者数	異常なし	要指導	要精検
61	6	16	39

### (7) アンケート結果

#### ア 喫煙と歯周病の関係認知度



(8) 歯の健康づくり得点

妊婦歯科健診、歯周病予防健診、健康相談時に実施した。歯の健康づくり得点は口の中を見なくてもその方の口の健康状態を把握できるものである。大口町民の歯の健康状態の傾向を把握し、健康教育に役立て、歯の健康増進につなげていくことを目的としている。

ア 実施人数

(単位：人)

	男	女
40歳未満	3	170(84)
40歳以上	13	73(0)
合計	16	244(84)

イ 歯の健康づくり得点で16点以上の者

(単位：人)

	男	女	妊婦
40歳未満	3	20	23
40歳以上	9	24	0

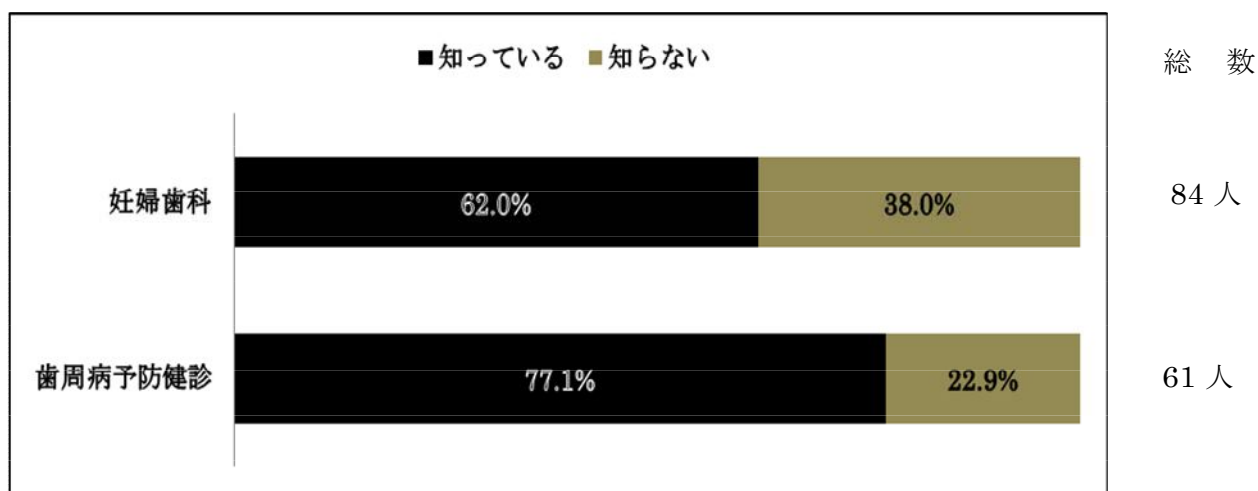
( ) 内は妊婦歯科健診受診者

はちまるにいまる きゅうまるいちちち

## 7 8020・9018運動 歯の健康コンクール

- (1) 目的 生涯を通じた歯の健康づくりの一環として、80歳以上で20本以上の歯がある方、90歳以上で18本以上の歯がある方を表彰し、歯科保健への認識を高める。
- (2) 表彰日時 平成23年11月6日(日)「ふれあいまつり2011」にて
- (3) 表彰者 9名 内訳(男性4名 女性5名)  
(8020 9名 9018 0名)
- (4) 8020運動の認知度

ア 実施結果



## 8 口腔機能向上事業

### (1) 目的

いつまでも、いきいきとして暮らしていくために、口腔機能維持、改善をし、高齢者が自立した生活が送れるよう支援していく。また要介護状態の発生予防を目的に特定高齢者に対して支援していく。

### (2) 内容

事業名	おいしく食べられる健口教室
対象者	特定高齢者
実施時期	平成 23 年 8 月～10 月      平成 23 年 12 月～24 年 2 月
実施回数	1 クール月 2 回   5 回コース 事後フォロー1回   平成 24 年 3 月 22 日
実施場所	さつきヶ丘集会所      上小口学供 事後フォロー   さつきヶ丘集会所
従事者	歯科衛生士   管理栄養士   介護グループ職員
参加者 状況	8 月～10 月 12 名 (男 7 名   女 5 名) 12 月～2 月 4 名 (男 0 名   女 4 名) 事後フォロー   5 名 (男 5 名   女 0 名)
周知方法	さつきヶ丘と余野地区は住民健診時にチェックリストを実施し、勧奨した。上小口地区は寿楽会でチェックリストを実施し勧誘した。
実施内容	1 回目   事前アセスメント 2 回目   健康おおぐち 21 元気体操 口腔清掃、お口の体操 だ液線マッサージ、ゲーム 講話 (歯周病とむし歯、唾液、飲み込み、口腔機能) 3 回目   栄養 4 回目   美容と運動 5 回目   事後アセスメント *継続できるようカレンダー作成し、家で口腔ケアとお口の体操をしたら記入して、次回持参してもらった。 事後フォロー   お口の体操、唾液腺マッサージ、1 分間スピーチ、 脳トレゲーム

### (3) まとめ

唾液腺マッサージを継続することで飲みこみ、むせが改善された方が多い。  
今年度事後フォローを教室終了後 6 か月後に実施した。参加できる方が少なかったが、教室に参加してよかったという感想が聞かれた。「また何ヶ月か後に集まりたい」という意見もあった。地域に出向いたことで参加しやすかったようである。

## 5 健康推進事業

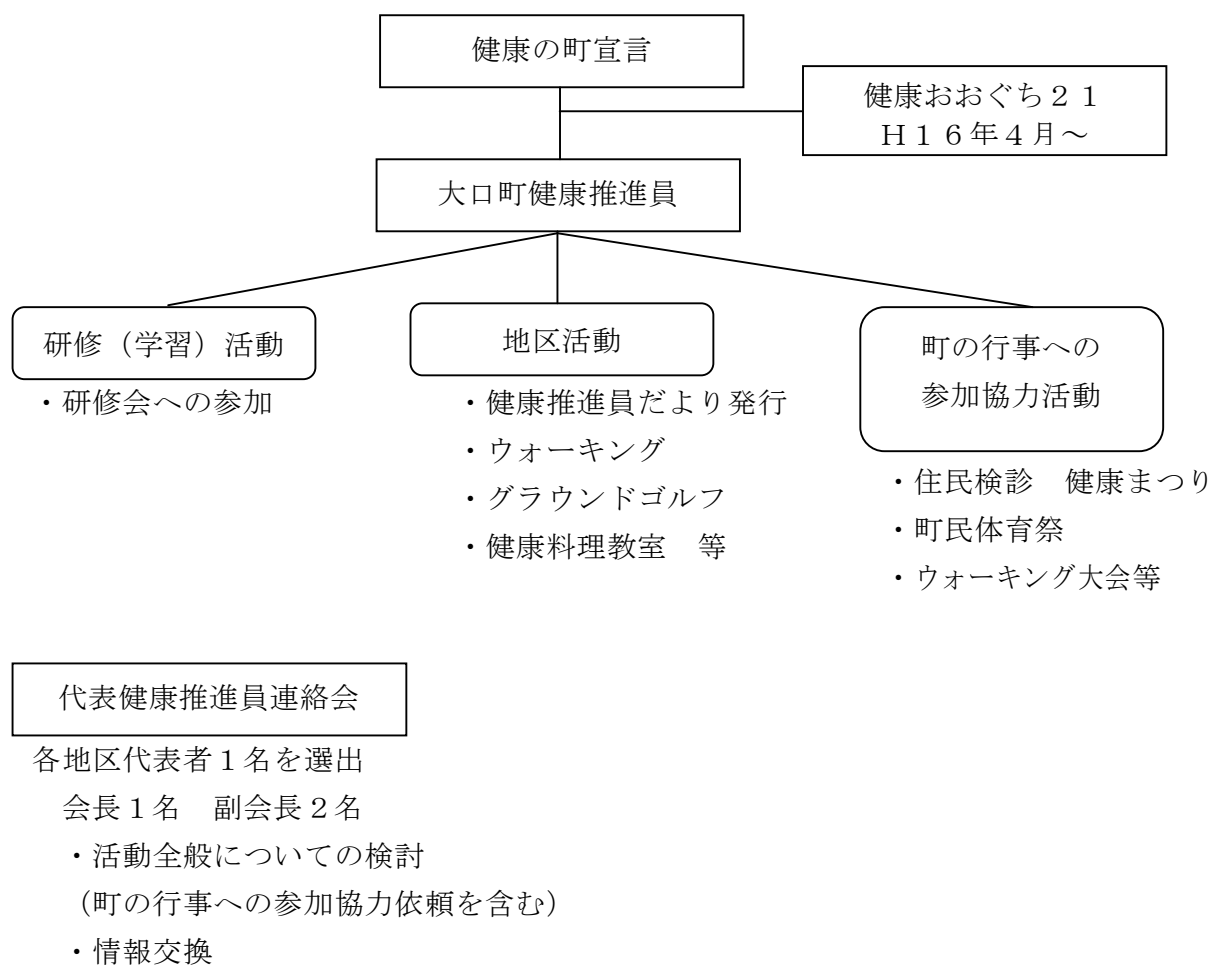


# 1 健康推進員活動

平成5年12月議会において「大口町健康の町宣言」が議決された。平成7年6月には、健康の町宣言事業の一環として、健康で幸せな生活を送るために、地区住民の健康意識を高め、地区活動を積極的に推進することを目的として、健康推進員制度が設置された。

健康推進員数は概ね100世帯に1名とし、平成22年度からの第6期健康推進員は62名でスタートした。

今年度は、第6期2年目にあたり「自分の健康から家族・地域の健康に目を向けてみよう！」を目標に、生活習慣病予防を中心とした理解と推進を研修会で学習しながら、「健康おおぐち21」の推進内容を中心に今までの地区活動の継続や区の活動に参加するなど、積極的に健康づくりの活動を展開した。また23年度は「介護・保険・健康の取り組みについて（PPK活動）」と「がんの予防について」のテーマを各地区活動に取り入れて啓発を行った。



## (1) 健康推進員研修会実施状況

(単位：人)

実施月日	内 容	講 師	参加人数
4月21日(月)	「大口町の健康・保険・介護予防について 考えてみよう！」 ～伸ばそう 健康寿命 血管を守ろう！～	国保担当 介護保険担当 保健師	46
6月11日(土)	「伸ばそう健康寿命！ ～ピンピンコロリ大作戦～」 *会場：町民会館	医師 津下 一代先生	
6月16日(木)	「家庭で注意すべき感染症」	ハートフル ケアセミナー	31
7月22日(金)	「口腔ケアをして健康長寿」	ハートフル ケアセミナー	44
10月12日(水)	「ポールウォーキングについて 勉強してみよう！」	健康運動指導士	52
11月5日(土)	健康まつり		52
11月18日(金)	視察研修 あいち健康プラザ 「ノルディックウォークを体験し よう！」	健康運動指導士	47

## (2) 健康推進員全体活動

(単位：人)

実施月日	内 容	参加人数
11月5日(土)	健康まつりの一環としてウォーキング大会 各地区から広場までウォーキングコースを設定し実施	397
11月5日(土)	大口町ふれあいまつり 2011 にて 健康まつり (健康おおぐち21推進)	1,000

\* 健康おおぐち21推進のための作業部会「健康クラブ笑顔21」へ健康推進員代表として参画し、16年度から3名、17年～23年度は2人が参加し、健康おおぐち21を推進していく原動力となっている。

(3) 代表健康推進員連絡会実施状況

実 施 月 日	主 な 内 容
平成 23 年 4 月 5 日 (木)	23 年度代表健康推進員連絡会について 22 年度健康推進員活動交付金について 情報交換
6 月 2 日 (木)	住民(結核)検診及びがん検診・特定健診について 地区活動の情報交換
8 月 23 日 (火)	住民(結核)検診結果について ウォーキング大会について P P K ・ がん啓発 ・ 地区での実施について 研修会について
9 月 27 日 (火)	ウォーキング大会について (参加記念品等) ふれあいまつり(健康まつり)について 視察研修について
10 月 12 日 (水)	ウォーキング大会について (参加記念品について)
10 月 28 日 (金)	ウォーキング大会について 健康まつりについて 視察研修について
11 月 8 日 (火)	ウォーキング大会について (反省) 健康まつりについて (反省) 健康推進員活動 中間報告について
平成 24 年 1 月 23 日 (月)	P P K 地区説明会について (感想等) 24 年度の研修会について (推進員アンケートを提示) 今年度の反省と次年度計画、健康推進員制度について
3 月 14 日 (水)	23 年度健康推進活動実績報告について 23 年度の反省 24 年の代表者について

(4) 地区自主活動の状況

地 区	活 動 状 況
秋 田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 太極拳 (毎月第2・4金曜日) *夏場の早朝外で実施 毎回 20 人</li> <li>・ 「PPK プロジェクト地区説明会」秋田さわやかクラブと協賛(5月) 75 人</li> <li>・ 「健康講座 がん予防について」 25 人</li> <li>・ 秋季グラウンドゴルフ大会 (9月) 50 人</li> <li style="padding-left: 40px;">*グラウンドゴルフ協会共催 70 人</li> <li>・ 大口町ウォーキング大会 (11月) 65 人</li> <li>・ 春季グラウンドゴルフ大会 (3月) 62 人</li> <li style="padding-left: 40px;">*グラウンドゴルフ協会共催</li> <li>・ 活動内容の検討と打ち合わせ (随時)</li> </ul>
豊 田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ しなやかお達者の会参加 (月2回) 毎回 1 人</li> <li>・ ヨガ教室 (4月～10月 月1回) 毎回約 10 人</li> <li>・ ゴキブリ団子づくり・がんについての講話 (5月) 35 名</li> <li>・ 早朝ラジオ体操と元気体操 約 150 人</li> <li style="padding-left: 40px;">子ども会と合同(7/21～28 6日間)</li> <li>・ 豊田区民盆踊り 協力</li> <li>・ 「PPK プロジェクト地区説明会」(8月) 31 名</li> <li>・ 大口町ウォーキング大会 (11月) 28 人</li> <li>・ ヘルシーパン作り教室 (3月) 20 人</li> <li>・ 活動内容の検討と打ち合わせ (随時)</li> </ul>
大屋敷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴキブリ団子作り(6月) 25 人</li> <li>・ 「PPK プロジェクト地区説明会」(6月) 29 人</li> <li>・ 盆踊り 手伝い 30 人</li> <li>・ 大口町ウォーキング大会 (11月) 37 人</li> <li>・ バスウォーキング (神戸 ハーバーランド) (2月) 36 人</li> <li>・ 活動内容の検討と打ち合わせ (年9回)</li> </ul>
外 坪	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グラウンドゴルフ練習 (毎月2回) 毎回 30 人</li> <li>・ 親善グラウンドゴルフ大会 (4月) 47 人</li> <li>・ 区老人クラブの集いとグラウンドゴルフ大会(5月) 52 人</li> <li>・ 盆踊りの練習 (4回) 延 300 人</li> <li>・ 「PPK プロジェクト地区説明会」(6月) 35 人</li> <li>・ 地区盆踊り大会協賛 (8月)</li> <li>・ 地域ふれあいバスウォーキング (ヘブンスそのはら) 49 人</li> <li>・ 大口町ウォーキング大会 (11月) 29 人</li> <li>・ 防災訓練 参加 55 人</li> <li>・ グラウンドゴルフ大会 (3月) 44 人</li> </ul>

	活 動 状 況	地 区
河 北	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナイトウォーキング (月 2 回)</li> <li>・犬山城ウォーキング(5 月)</li> <li>・ごきぶり団子づくり (6 月)</li> <li>・国際交流会参加 (アートバルーン作成)</li> <li>・「PPK プロジェクト地区説明会」(6 月)</li> <li>・骨盤体操教室 (7 月)</li> <li>・盆踊りに参加協力 (8 月)</li> <li>・区防災訓練参加 (11 月)</li> <li>・大口町ウォーキング大会 (11 月)</li> <li>・花もち飾りをつくろう (12 月)</li> <li>・普通救命講習 (1 月)</li> <li>・応急手当講習 (2 月)</li> </ul> <p>・ふれあい事業に手作りエコバック進呈 (4 月)</p> <p>・毎月連絡会実施</p>	<p>毎回約 12 人</p> <p>48 名</p> <p>23 人</p> <p>36 人</p> <p>25 人</p> <p>33 名</p> <p>61 人</p> <p>57 人</p> <p>10 人</p> <p>32 人</p>
余 野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康リズム体操 (月 2 回)</li> <li>・グラウンドゴルフ大会 (5 月)</li> <li>・青塚古墳ウォーキング (6 月)</li> <li>・余野夏まつり参加 (8 月)</li> <li>・「PPK プロジェクト地区説明会」(9 月)</li> <li>・健康料理教室 (10 月)</li> <li>・あずみの公園バスウォーキング(10 月)</li> <li>・大口町ウォーキング大会 (11 月)</li> </ul> <p>・健康推進員定例会 (活動内容の検討と反省) (毎月 1 回)</p>	<p>毎回 10～18 人</p> <p>72 人</p> <p>24 人</p> <p>11 人</p> <p>80 人</p> <p>26 人</p> <p>49 人</p> <p>30 人</p>
上小口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん予防の講話 (寿楽会とタイアップ) (6 月)</li> <li>・健康ボーリング大会 (7 月)</li> <li>・盆踊り練習 盆踊り大会 (8 月)</li> <li>・「PPK プロジェクト地区説明会」 寿楽会とタイアップ) (10 月)</li> <li>・大口町ウォーキング大会 (11 月)</li> </ul> <p>・健康推進員定例会 (毎月)</p> <p>・ポケットパークの草取り (年 3 回)</p>	<p>55 人</p> <p>40 人</p> <p>68 人</p> <p>42 人</p>
中小口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラウンドゴルフ 毎週月曜日</li> <li>・エアロビクス</li> <li>・中小口・垣田グラウンドゴルフ交流会 (7 月)</li> <li>・「PPK プロジェクト地区説明会」(8 月)</li> <li>・がん予防についての講話 (9 月)</li> <li>・健康まつりウォーキング大会 (11 月)</li> <li>・あいち健康プラザにてウォーキング(11 月)</li> <li>・年度末グラウンドゴルフ大会 (3 月)</li> </ul>	<p>毎回約 27 人</p> <p>毎回約 22 人</p> <p>45 人</p> <p>33 人</p> <p>37 人</p> <p>29 人</p> <p>34 人</p> <p>32 人</p>

	活 動 状 況	地 区
下小口	・高齢者ふれあいの集い「敬老会」に参加	136 人
	・がん予防の講話	26 人
	・下小口盆踊り練習会	43 人
	・バスウォーク（近江八幡）（9月）	
	・下小口グランドゴルフ大会（10月）	49 人
	・「PPK プロジェクト地区説明会」（10月）	48 人
	・大口町ウォーキング大会（11月）	72 人
	・下小口ウォーキング大会	
	・定例会（月1回）	
	・ナイトウォーキング（毎週金曜日）	
垣 田	・ナイトウォーキング（毎週木曜日）	毎回約 10 人
	・グラウンドゴルフ（毎週月・水曜日）	毎回約 13 人
	・垣田グラウンドゴルフ大会（5月）	15 人
	・中小口とグラウンドゴルフ交流会（7月）	13 人
	・「PPK プロジェクト地区説明会」（10月）	21 人
	・大口町ウォーキング大会（11月）	13 人
	・垣田区グラウンドゴルフ大会（3月）	10 人
	・犬山さらさくらバスツアー（3月）	30 人
さつきヶ丘	・太極拳（第1・3火曜日）	延べ 150 人
	*バスウォーキング（ひるがの高原）（6月）	46 人
	・盆踊講習会（7月 4回）	約 100 人
	*健康講演会（今井先生：がんについて）（7月）	約 50 人
	・ラジオ体操（子ども会と）（7月・8月）	
	*「PPK プロジェクト地区説明会」（10月）	34 人
	・大口町ウォーキング大会（11月）	29 人
	・初心者グラウンドゴルフ講習会（11月・2回）	延べ 48 人
	・グラウンドゴルフ交流試合	33 人
	・根菜を使った料理教室（3月）	21 人
	*印は区ふれあい事業と共催	

## 2 「健康おおぐち21」計画推進

平成15年度に「健康づくりの主役は住民」「健康づくり＝町づくり」と捉え、大口町の健康づくり計画「健康おおぐち21」を住民と町職員が共に考え策定した。

今年度は、「血管を守ろう！」を合言葉にPPKプロジェクト（介護・保険・健康の連携プロジェクト）が各地区に出向き、町の介護や保険の現状、予防について周知を実施。

特に生活習慣病予防に重点を置き、今日から始めることができる予防の提案として、「歩くこと」「体重を計ること」「野菜を食べること」の啓発をおこなった。

また、がん予防について健康推進員活動時に講話をおこない受診率の向上につなげた。いづれも町のNPO団体 健康クラブ笑顔21との協働のもと事業展開をおこなった。

22年度に健康クラブ笑顔21主催で実施した「ハピスマ健康教室」を継続し、さらに活動を充実させながら、計画を理解し推進する人を増やし、住民と行政が協働で計画を推進している。

### (1) 平成23年度「健康おおぐち21」推進実施状況

平成23年度の取り組み	
運動・生活活動分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易体力チェックの実施（トレーニングセンター見学・体験の実施 健康まつり時）</li> <li>・「元気体操」の周知（町民体育祭・南小学校・健康推進員地区活動）</li> <li>・生活の中に運動効果を上げるための提案を実施（住民検診・骨密度測定時など）</li> <li>・ふれあいまつりの中でウォーキング大会実施</li> <li>・スロートレーニングの普及</li> <li>・ウォーキングマップの活用</li> </ul>
食生活分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大口町「旬の野菜情報」（年4回発行）</li> <li>・旬の野菜情報の実演と試食（健康まつり時）</li> <li>・ご飯の仲間の野菜の選別（健康まつり時）</li> <li>・PPKによる野菜の手ばかり周知</li> <li>・老人クラブ等へ（歯部会）</li> </ul>
こころ分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動</li> <li>・健康まつり時での、啓発・世代間交流など</li> <li>・自殺予防キャンペーンの街頭啓発</li> <li>・広報おおぐちに「健康川柳、健康俳句」を掲載</li> </ul>

(2) 「健康おおぐち 21」 計画推進の経過  
 < 計画推進に向けての会議等実施状況 >

大口町健康づくり推進協議会	1 回
健康クラブ笑顔 21 (定例会・臨時)	1 6 回
食生活部会	9 回
運動・生活活動部会	随時
こころ部会	
たばこ・アルコール部会	
歯部会	
健康まつり連絡会	4 回

(3) 健康おおぐち 2 1 推進イベント

ア 目的

健康おおぐち 2 1 の推進として、より多くの人へ計画の周知と健康づくりのきっかけとなるよう、ふれあいまつり 2011 の中で「健康まつり」として実施。

イ 日時

平成 2 3 年 1 1 月 5 日 (土) 午前 1 0 時～午後 3 時

ウ 場所

健康文化センター 1 階～5 階

エ スタッフ

健康生きがい課・戸籍保険課・健康クラブ笑顔 21・健康推進員・高齢者福祉協力員・脱メタボおじさまの会・脱メタボさくらの会・太極拳協会・マーメイド・ウイルおおぐち・断酒会・国保連合会在宅保健師・歯科衛生士会・薬剤師会・細胞検査士会

オ 内容及び参加者数

テーマ「血管を守ろう！ ～伸ばそう健康寿命～」

全体の参加者 約 1,000 人

受付・来場者…チラシ配布数 721 以上



● 1階（ロビー・多目的室・機能回復訓練室・栄養実習室）

コーナー名	参加者数	コーナー名	参加者数
受付		<b>【脳トレ】</b>	
血管の長さクイズ	348	できるかな？耳と鼻つまみ	249
血管のぬり絵	78	かな・数字ひろい	115
心臓の音を聞いてみよう	326	声に出して読んでみよう	218
血圧測定	38	指折り追いかけっこ	215
癒しの抹茶	360	早口言葉	163
環境にやさしい♪旬の野菜クッキング	260	同じように書いてみよう	285
<b>【測定（戸籍保険課）】</b>		デイサービス作品展示	—
動脈硬化測定	122	<b>【運動】</b>	
体脂肪・活力年齢計	162	体のバランスチェック	161
健康相談（国保）	73	イス立ちあがりテスト（CS-30）	161
血行血流血圧計	157	体の柔軟性チェック	229
血管年齢測定	283	理学療法士による運動アドバイス	19

● 4階

コーナー名	参加者数	コーナー名	参加者数
血管のぬり絵	55	<b>【がん啓発】</b>	
噛むカムチェック	127	がん検診紹介コーナー	90
野菜の仕分けクイズ	166	がんクイズ	255
大切な人へのメッセージコーナー	57	目で見るとがんコーナー	179
飲める？体質チェック	230	<b>【測定（戸籍保険課）】</b>	
整膚体験	73	体組成計・健康相談	99
出張！ほぐし処	58	血液サラサラチェック	124
<b>【中央】</b>		加速度脈派計	87
アロママッサージ	64	PPK クイズ	321
若返りコーナー	31	メボコーナー・栄養相談	23
乳がん自己検診法	12	<b>【薬剤師会】</b>	
体験！救急蘇生法	24	子宮頸がんワクチン啓発コーナー 薬局さんのコーナー	12
		薬剤師による脈診	21
★クイズラリーゴール	280	血圧の薬相談	175

### 3 保険・介護・健康連携の取組状況

#### 取組みの背景・状況

年々伸び続ける国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険などの給付費は、今後の高齢者の増加に伴い、ますます増えていくものと思われる。町としては医療や介護の給付費の抑制“給付を抑える＝予防”を図ることが必要である。

そこで平成 22 年度から、戸籍保険課国保グループ、健康生きがい課介護グループ、健康グループが連携をして、国保・介護・健康の総合的な視点から現状の把握と分析に努め、得られたデータを基に、住民に対して、医療や介護の現状の理解、健康への関心を高めるため地区での説明会を開催してきた。

データから大口町は脳血管疾患での医療費が高く、また第 2 号被保険者の要介護認定理由のうち、脳血管疾患の割合が高い状況が分かってきた。そこで血管を傷めることでおこる病気に焦点をあて、「血管を守ろう!」を合言葉に取り組みを展開した。

\*血管は、肥満や高血圧、高血糖・高血圧・脂質異常などの影響を受け、1つ1つのリスクが積み重なることで、動脈硬化の状態が進行し、その結果脳血管疾患などの病気を発症してしまうこととなる。その状態に至るまでには食生活や運動習慣等の生活習慣が大きく影響している。

#### 平成 23 年度の活動内容

##### 1 住民等に対する周知活動

○「血管を守ろう! No 2」啓発用リーフレットを作成・配布

○地区説明会活動・イキイキ勉強会の開催

町の介護・保険・健康等の現状について各担当から説明し、健康づくりについて「今日からできること」を提案。

各地区の老人クラブや健康推進員活動で実施。 全 14 回 延参加者数 743 名

○広報おおぐちによる周知

PPKプロジェクト通信（10月号から3月号まで6回掲載）

○福祉講演会

	日 時	場 所	内 容	備 考
1	6月11日(土)	町民会館	「伸ばそう健康寿命」 講師 津 下 一 代 先生 前座で周知活動	参加者 421名
2	12月3日(土)	ほほえみ ホール	「メタボでどこが悪い」 講師 成 瀬 桂 子 先生 前座で周知活動	参加者 79名

## 2 実態調査

介護保険第2号被保険者（40歳～64歳）で要介護認定者（生活習慣病が原因の方）へ戸別訪問を行い、面接による生活習慣等の調査を行った。

調査人数 22名（内訳：男性17名・女性5名）

調査結果 12月3日の福祉講演会にて報告・24年度啓発用リーフレットに結果を掲載

## 3 運動習慣がある人の医療費調査

いきいきカードの交付者のうち、週2回以上温水プールやトレーニングセンターを利用している方（65歳～74歳）と国保加入者（65歳～74歳）の平均医療費の調査を行った。運動習慣のある人の医療費が低いことがわかった。

国保加入者 435,120円

プール利用者（24名） 244,103円

トレーニングセンター利用者（50名） 295,556円

\*トレーニングセンター運営会議より、利用者アンケートから「血圧が下がった」「通院回数が減った」や高齢者だけでなく若い人の体力測定の希望意見あり

## 4 静岡県立大学看護学部白石講師との勉強会（23年10月18日）

活動の成果の評価の方法について（評価指標として運動能力測定の導入）アドバイスを受ける

## 5 津下先生を囲んでの勉強会（24年1月6日）

・活動の評価について

（全地区での説明会開催はいいことだが、参加者の追跡調査が必要）

・取り組みの現状と今後について

（体力測定を健康指標として導入することとその方法）

・健康づくりを戦略的に進めるために

（健康づくり＝まちづくり、全庁的な取り組みを）

## 6 経営会議（24年2月20日）

健康づくりの視点をもった行政と連携の必要性について

## 7 東海市しあわせ村視察（24年2月23日）

・全課42名の職員から構成される元気推進委員会を設置し、その事務局を企画課に置くなど全庁的な取り組みをしている状況について

・健康診査体力測定結果にあわせた運動プログラムや栄養相談、市内の飲食店を巻き込んだ食生活応援メニューの提供

### 取り組み結果・評価

地区説明会での参加者に事後アンケートを実施したところ、参加後6割の方が何らかの行動変化があり、生活習慣（食習慣・運動習慣・計測をする）を改善されていることがわかった。その一方で、昼間の平日の開催が多かったため、参加者は高齢者や女性が多く、若い世代へのアプローチの方法が課題となる。

### 今後の方向性

地区説明会の参加者6割の方に行動変化があり、引き続き啓発を行っていきます。さらに24年度は、健康のバロメーターを健康診査と体力測定との両方から見ることとし、健康への関心が薄い若い年代に対し、関心を持ってもらうための働き掛けを行っていく。

また、歩くことをより効果的な運動として「ポールウォーキング」を「メタボ予防」・「ロコモ予防」の両方から広く紹介し、健康づくりの推進をしていく。

### ○地区説明会活動

	日 時	地 区	主 催	参加者数	備 考
1	4月18日(月)	豊田	老人クラブ	57名	減塩食試食
2	4月21日(木)	健康推進員	健康生きがい課	52名	
3	5月17日(火)	さつきヶ丘	老人クラブ	23名	減塩食試食
4	6月17日(金)	秋田	健康推進員 老人クラブ	75名	減塩食試食
5	6月21日(火)	大屋敷	健康推進員	29名	減塩食試食
6	7月13日(水)	外坪	健康推進員	35名	
7	8月2日(火)	中小口	健康推進員	33名	
8	8月21日(日)	豊田	健康推進員	31名	
9	9月28日(水)	さつきヶ丘	健康推進員	34名	
10	9月30日(水)	余野	健康推進員 老人クラブ	80名	減塩食試食
11	10月5日(水)	垣田	健康推進員	21名	減塩食試食
12	10月14日(金)	河北	健康推進員	36名	
13	10月23日(日)	下小口	健康推進員	49名	減塩食試食
14	11月15日(火)	上小口	健康推進員 老人クラブ	68名	
15	1月21日(土)	町全体	プロジェクト	120名	ほほえみ ホール

延べ 743名

## 6 感染症予防事業

# 1 予防接種

予防接種は、感染症予防のために最も有効な手段の一つである。その目的を果たすためには、予防接種法等関係法令の規定に基づき、乳幼児や学童・高齢者に対して、安定的に予防接種の機会を提供し、安全で有効な予防接種を実施し、一定の接種率を確保することが重要である。本町では広報・ホームページ等で周知し、未接種者を把握し乳幼児健診・個別通知等で勧奨を行い接種率の向上に努めている。

## (1) 個別接種実施体制

就学前の乳幼児に対しては出生届時に戸籍保険課において、予防接種予診票綴と「予防接種と子どもの健康」を交付している。学童の接種対象者については、個別通知にて予診票を送付し、予防接種を受けるよう周知している。転入者については保健センターで予診票の発行（差し替え）を行っている。

インフルエンザ予防接種は、対象者に個別通知で予診票を送付し、委託医療機関にて一部負担金（1,000 円）を支払い、希望者は接種を受けるよう周知している。

### ア 個別接種の種類と接種期間

予防接種の種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
三種混合 MR1期・2期 日本脳炎	←-----→														
二種混合				←-----→ 7月～8月接種を勧奨											
MR 3期 MR 4期	←-----→ 4月～6月接種を勧奨														
インフルエンザ								←-----→ 11/1～12/28							
ヒブ	←-----→														
小児用肺炎球菌	←-----→														
子宮頸がん	←-----→														
高齢者肺炎球菌			←-----→												

イ 予防接種会場

予防接種の種類		接種方法	接種会場
一類疾病	三種混合 (百日せき・ジフテリア・破傷風)	個別接種	大口町・扶桑町 江南市・犬山市の 委託医療機関 (予約制)
	二種混合 (ジフテリア・破傷風)		
	MR (麻しん・風しん混合) ・麻しん・風しん		
	日本脳炎		
二類疾病	インフルエンザ		
任意	ヒブ		
	小児用肺炎球菌		
	子宮頸がん		
一類疾病	B C G	集団接種	保健センター
	ポリオ(急性灰白髄炎)		

(2) 実施状況

(単位：人・%)

一類疾病		23 年度			22 年度	21 年度	20 年度
		対象者	被接種者	接種率	接種率	接種率	接種率
三種混合	第 1 期初回 1 回目	285	260	91.2	85.1	85.9	91.3
	第 1 期初回 2 回目	284	259	91.2	87.4	89.3	85.8
	第 1 期初回 3 回目	286	270	94.4	84.6	86.7	86.8
	第 1 期追加	280	208	74.3	95.1	77.8	73.5
二種混合	第 2 期	266	209	78.6	88.8	92.9	85.1
麻しん・ 風しん混合 (MR)※ <sup>1</sup>	第 1 期	229	219	95.6	97.1	98.8	96.7
	第 2 期	231	220	95.2	95.9	92.7	95.0
	第 3 期	263	236	89.7	92.1	90.9	93.8
	第 4 期※ <sup>2</sup>	251	229(13)	91.2	88.1	89.0	87.7
日本脳炎	第 1 期初回 1 回目 接種者	774※ <sup>3</sup>	427	55.2	—	—	—
	第 1 期初回 2 回目 接種者	774※ <sup>3</sup>	440	56.8	—	—	—
	第 1 期追加 接種者	741※ <sup>4</sup>	488	65.9	—	—	—
	第 2 期 接種者	—	515	—	—	—	—
B C G		228	223	97.8	100.0	99.6	99.2
ポリオ	1 回目	231	227	98.3	86.3	90.9	92.1
	2 回目	221	207	93.7	88.0	90.6	85.8

二類疾病	23年度			22年度	21年度	20年度
	対象者	被接種者	接種率	接種率	接種率	接種率
高齢者インフルエンザ(65才以上)接種者	4,404	2,702	61.4	66.7 2,881	63.4 2,676	66.7 2,724

※<sup>1</sup>MR第3期・第4期：麻しん排除計画による平成20年度～24年度までの5年間の時限措置。

※<sup>2</sup>MR第4期：平成23年5月20日から平成24年3月31日までの間、就学旅行等学校行事としての研修旅行で海外に行くなど特段の事情がある場合には、17歳となる日の属する年度(高校2年生相当)の者も接種対象者とみなす。括弧内は高校2年生相当での接種者。

※<sup>3</sup>日本脳炎初回接種対象者：3歳及び積極的な勧奨の差し控えにより未接種だった者で、第1期末接種分の勧奨対象者の9歳及び10歳の者。

※<sup>4</sup>日本脳炎追加接種対象者：4歳及び積極的な勧奨の差し控えにより未接種だった者で、第1期末接種分の勧奨対象者の9歳及び10歳の者。

### (3) 日本脳炎

平成17年5月30日から積極的な勧奨が差し控えられていたが、平成22年度には第1期初回接種の標準的な接種期間の該当者(3歳)への積極的な勧奨を再開。平成23年5月20日付けの国からの通知により、第1期初回及び追加接種の標準的な接種期間の該当者(3歳及び4歳)、また9歳及び10歳の方で第1期接種不足分の積極的な勧奨を行うこと、また平成17年の積極的な勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方(平成7年6月1日～平成19年4月1日生)は、4歳以上20歳未満まで接種できる機会が延長された。

### (4) 子宮頸がん予防ワクチン・ヒブ・小児用肺炎球菌

平成22年11月26日から子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例基金事業が適用され、本町でも平成23年1月から接種費用の一部助成を開始し2年目となる。子宮頸がんワクチン供給不足により、平成23年3月からワクチン接種が困難な状況であったが、平成23年7月よりワクチンの供給が回復した。その間に接種ができなかった高校2年生(平成24年度)相当の年齢の女子に対し、平成23年9月末までの間に接種を開始した場合は平成23年度も接種対象者とする通知が国より出された。

ワクチン名	対象者	23年度		22年度	
		接種者数	延べ接種回数	接種者数	延べ接種回数
子宮頸がん	中学1年～高校1年生に相当する年齢の女子	341人	651回 (※1うち28回)	134人	247回 (※1うち16回)
ヒブ	2か月齢以上5歳未満	371人	208回 (※1うち5回)	178人	208回 (※1うち3回)
小児用肺炎球菌	2か月齢以上5歳未満	437人	235回 (※1うち5回)	205人	235回 (※1うち3回)

※1 町民税非課税世帯及び生活保護世帯の方低所得者は全額助成



(5) 高齢者肺炎球菌

平成 23 年 6 月 1 日より 75 歳以上の高齢者及び 60 歳以上 75 歳以上の方で心臓・腎臓または呼吸器の機能に自己の身の日常生活が極度に制限される程度の障害を有する方またはヒト免疫機能に障害(身体障害者手帳 1 級相当)を有する方への高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業を開始した。接種助成額は 4,000 円とし、町民税非課税世帯及び生活保護世帯の方は 8,000 円の助成。健康生きがい課への事前申請後の接種となる。

申請者	接種者(4,000 円助成)	接種者(8,000 円助成)
315 人	226 人	68 人

※接種者合計は 294 人、23 年度に申請したが年度内に未接種の方は 21 人。

# 保健活動のまとめ

平成24年6月発行

編 集 大 口 町 健 康 福 祉 部 健 康 生 き が い 課  
(大 口 町 保 健 セ ン タ ー)  
丹 羽 郡 大 口 町 伝 右 一 丁 目 35 番 地  
電 話 0587 (94) 0051  
F A X 0587 (94) 0052

発 行 大 口 町

健康おおぐち21 シンボルマーク



ハッピー・スマッピー